教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
（令和６年度事業分）

令和７年１０月

西海市教育委員会

目　次

Ⅰ　教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について
１．点検評価の概要 …… 1
２．外部評価者の意見 …… 2
３．評価基準 …… 2
４．教育委員会の取組 …… 2
５．ＳＤＧｓによる取組 …… 3
Ⅱ　学識経験者による所見
椋本　博志　氏 …… 4
上野　昭博　氏 …… 11
Ⅲ　自己点検・評価一覧表
１．教育委員会の活動状況について
１）活動状況総括表 …… 18
２）小中学校訪問状況 …… 19
３）長崎県教育委員会との意見交換 …… 19
４）研修会への参加状況 …… 19
２．教育委員会が管理・執行する事務について
１）教育委員会の審議状況 …… 20
３．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価概要
１）重点政策に見る事務事業の評価状況 …… 26
２）重点政策１「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」評価状況 …… 29
３）重点政策２「いつでもどこでも学べる生涯学習の推進」評価状況 …… 32
４）重点政策３「市民総ぐるみで取り組む教育力の向上」評価状況 …… 35
５）重点政策４「安心して学べる教育環境の構築」評価状況 …… 38
６）重点政策５「地域を支える文化・芸術、スポーツの振興」評価状況 …… 41
７）重点政策を通した考察 …… 44
８）結論と総括 …… 44
４．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価一覧
１）生きる力をはぐくむ学校教育の実現 …… 46
①能力や個性を伸ばす教育の推進 …… 46
②豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進 …… 50
③健康で安全な学校生活の実現 …… 56
④教職員の資質の向上 …… 60
⑤幼児教育の推進 …… 62
⑥働き方改革の推進 …… 63
２）いつでもどこでも学べる生涯学習の推進 …… 65
①学習環境の充実 …… 65
②公民館活動の活性化 …… 70
③人権教育の推進 …… 71
３）市民総ぐるみで取り組む教育力の向上 …… 73
①家庭の教育力の向上 …… 73
②青少年の健全育成 …… 76
４）安心して学べる教育環境の構築 …… 79
①安心で望ましい教育環境の実現 …… 79
②安全で快適な教育施設の整備 …… 82
５）地域を支える文化・芸術、スポーツの振興 …… 86
①文化・芸術活動の推進 …… 86
②文化財の保存・保護・活用 …… 88
③活力あるスポーツの振興 …… 91
④スポーツ環境の充実 …… 95

Ⅰ　教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

１．点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」と言います。）第26条の規定により、毎年、教育に関する学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

西海市教育委員会においては、令和３年度に改定した第二期西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、令和６年度における所管事務についての自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

第25条　教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

２　前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

一　教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。

二　教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。

三　教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。

四　教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

五　次条の規定による点検及び評価に関すること。

六　第27条及び第29条に規定する意見の申出に関すること。

３　教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第１項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

４　教育長は、第１項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

２．外部評価者の意見

法第26条第２項の点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用に関し、次の２名の外部評価者から各項目に関しての所見を頂戴しました。

椋本　博志　氏（長崎大学生涯教育センター長）

上野　昭博　氏（元西海市立小学校長）

３．評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準によりＡからＤのランク付けを行いました。

評価ランク（達成率）	評　価　基　準
Ａ （100％）	・施策の目的・目標を満たすよう事業に取り組んでいる ・施策成果は目的水準を満たしているかそれ以上である ⇒今後も積極的に施策を推進していく状態にある
Ｂ （80％以上）	・施策の目的・目標を満たすよう事業に取り組んでいる ・施策成果は概ね目的水準に到達している ⇒今後も積極的に施策を推進していく状態にあるが、目的水準達成に向けた課題等の分析評価を検討しなければならない
Ｃ （50％以上～80％未満）	・施策の目的・目標を満たすよう事業に取り組んでいる ・施策成果の目的水準到達程度がＢより劣る ⇒課題等を分析評価し、事業内容や手法の見直しを前提に事業展開を図る
Ｄ （50％未満）	・施策の目的・目標達成のための事業未着手 OR 事業には着手しているが、目的・目標を満たすような取組となっていない ・施策の成果がない OR 施策の成果が目的水準を大きく下回る ⇒課題等を分析評価し、事業の抜本的な見直しを図る必要がある

４．教育委員会の取組

令和６年度の教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。

「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトに会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えており、令和３年度に策定された第２次西海市総合計画後期基本計画に合わせ改訂した第二期西海市教育振興基本計画に基づき、引き続き本市教育行政が果たすべき役割を的確に反映した内容を目指してまいります。

５．ＳＤＧｓによる取組

ＳＤＧｓは「Sustainable　Development　Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年９月の国連サミットで採択された17の国際目標であり、様々な問題・課題を解決するために「誰ひとり取り残さない」という共通理念とされております。

2030年に向けた国際社会全体の行動計画で設定されたＳＤＧｓの理念を実現すべく、持続可能な未来社会の創造に向け、教育活動を進めることが求められています。

西海市教育委員会においても、「豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくり」の教育方針に基づき策定する本教育振興基本計画と、ＳＤＧｓの理念は方向性が同一であるため、振興計画の施策を各取組との関連付けを行い、身近なところから取り組むことで、国際目標の達成へ貢献することも目指します。

Ⅱ　学識経験者による所見

椋本　博志　氏

西海市教育委員会が令和６年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、第２期教育振興基本計画の後期に入って折り返しの3年目が終了しました。これまでの成果・課題を踏まえ、毎年改善または修正し、真摯に取り組まれていること、少子高齢化が進みながらも西海市の豊かな地域の「人・もの・こと」を生かした教育が展開されていることに敬意を表します。

今後は、学校と地域が共通の目標を持つコミュニティ・スクールの導入や地域運営組織と連携・協働が進み、自分なりの夢・憧れ・志をもち、ふるさとを愛し誇りを持つ【未来の創り手】としての子どもの育成と、子育て世代や高齢者をはじめとする成人の社会教育での学びを活かした【ふるさとを創る次世代の育成】を両輪とした、西海市らしい多世代をつなぐ「ふるさと教育」を基盤とした持続可能な地域づくりを進めてほしいと思います。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

１．教育委員会の活動状況について

西海市ウェブサイトで、教育委員会の議事録は説明責任を果たすためにも公開が基本だと思われますが、全回公開できていなかったのは残念です。また、市長との意見交換を行う総合教育会議については令和になって以降、議事録の公開がないのは非常に残念です。市長と教育委員会が西海市教育行政の目指す姿等を共有し、連携を図るとともに、効果的・効率的に教育行政を推進していることを示す上でも議事録の公開は必要不可欠であると思いますので、公開することを強く望みます。

昨年度も減少傾向でありましたが、学校訪問や研修会･研究発表会はさらに減少、社会教育委員との意見交換は実施できたものの、社会教育施設訪問の未実施は昨年度も指摘しましたが、改善されておらず、非常に残念です。再度、学校と社会教育施設を組み合わせた訪問計画を立てるなど、「出かける教育委員会」の実施等を行い、教育委員の活動を「可視化」してほしいと思います。

２．教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされており、特記事項はありません。

３．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価概要

昨年度までなかった項目でありますが、重点政策について、評価の変動や内訳がグラフ化されて見やすくまとめられて、それぞれの重点政策が視覚的にとらえやすくなっています。

一目で教育委員会所管事務の状況が市民にも説明しやすく、理解しやすくなると思いますので、今後も掲載することを望みます。

４．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価一覧

（１）　生きる力をはぐくむ学校教育の実現

①　能力や個性を伸ばす教育の推進

○　西海市の児童生徒の学力向上のために、「授業実践の視点Ver.２」による日々の授業改善と、「西海市学力向上５アッププロジェクト」による意識改革に大いに期待します。各学校で取り組まれている「家庭学習の手引き」は学習時間ばかりが先行し、形骸化しているように感じます。なぜ家庭学習が必要なのかを親子で理解し、継続的に実践する必要があります。そのためにも、各学校または公民館区で家庭教育講座や家庭学習体験会、親子ながさきファミリープログラムなどを児童生徒と一緒に学ぶ機会として企画するなど、工夫した取組を期待します。

○　特別支援教育の充実については、学習支援員の配置や専門機関等と連携等、手厚く取組が進められていることに、敬意を表します。今後とも、一人一人の児童の困り感に寄り添った特別支援教育の更なる推進を期待します。

○　グローバル化に対応した英語教育の推進については、学力５アッププログラムでも上位に位置づけられていますが、小中学校が連携し、「英語が楽しい」から「英語がわかる」へ円滑に接続できるよう、今後の英語力向上のチャレンジアップに期待します。

②　豊かな心とふるさとを学ぶ教育の推進

○　道徳教育の充実については、県主催事業を活用し、教職員対象の西海市独自の研修会を実施されていることは素晴らしいことです。今後は、西海市独自の研修会で各学校が実践している様々な体験活動の成果と課題を共有し、各学校の実態に応じた、よい体験活動に高めてほしいと思います。また、今年度から年２回WebQUテストが導入されることで、実態に応じた道徳教育の充実がさらに進むことを期待します。

○　ふるさとを学ぶ教育の推進については、ふるさとについて学ぶ「西海学」が市内全小学校で実施されておらず、非常に残念です。ふるさとについて学ぶ副教材と「西海学」を教育課程に位置付け、持続可能なふるさと教育になるように取り組まれることを大いに期待します。そのためにも、ふるさと教育を基盤とするコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の展開を大いに期待します。

○　読書活動の推進については、読書環境の整備はしっかりできています。平日の読書時間は家庭学習の定着とセットで取り組む必要があります。各学校で、読書も含めた家庭学習内容の定着化を図る取組を家庭と連携して進めてほしいと思います。

○　不登校等の子どもの支援については、心の教室相談員やスクールカウンセラー、

スクールソーシャルワーカーなど教育相談体制の整備に敬意を表します。今後は、不登校等の児童生徒が学びたいと思ったときに学べる環境づくりを市内全域で進められることを望みます。

○　いじめや差別のない学校づくりについては、各校で策定されている「いじめ防止基本方針」に即した取組により、いじめの解決が100％の解決を維持していることを大いに評価します。今後も、定期的なアンケート実施等で早期発見に努められるとともに、校内での情報共有機会の充実を図ってほしいと思います。

③　健康で安全な学校生活の実現

○　「朝ごはんを毎日食べて登校する児童･生徒の割合」については、年々低下傾向にあります。全国平均値との比較も大事ですが、基本的生活習慣の定着や家庭の養育態度の醸成から最終目標値である100％を目指すことを強く望みます。「は・あ・と・ふ・る運動」と併せて、子どもだけでなく大人も朝ごはんをしっかり摂ることを市広報紙や講演会等で周知・啓発されることを大いに期待します。

○　避難訓練や引き渡し訓練については、昨今の自然災害の多発化を見据えて、児童・生徒の生命を守るために、今後は外部機関（警察や消防署、市役所関係部局･課）との連携や地域住民を含めた地域での避難訓練も視野に入れて取り組むことも検討してください。

○　体力向上については、昨年度より割合は減少したものの、授業での準備運動での取組の成果が着実に現れていますので、今後も継続してください。部活動指導者の研修会も定例化できていることを評価します。令和６年度に策定した計画に基づき、令和８年度には「休日の部活動の完全地域移行」が達成できるように、地域性に応じた部活動や指導者の在り方を検討し、市民への十分な説明責任を果たしながら推進されることを期待します。

○　食育の推進については、西海市の安全な食材を使いながら、座学だけでなく、発達段階に応じた体験を通して学ぶ機会を是非各学校で設定してほしいと思います。特に、中学生は将来の一人暮らしを想定した自炊力を身につける体験やふるさとの食材を生かした郷土料理体験を取り入れるなど、婦人会やヘルスメイト等との連携も検討してみてほしいと思います。また、「防災食育施設」を整備する構想は時機を得た取組なので、できるだけ早期に実現させてほしいと思います。

④　教職員の資質の向上

○　定期及び選択制研修会での教職員の研修は順調に取り組まれており、充実したものとなっていると評価します。研修会については、対面とオンライン、実施した研修の視聴など、ICTを活用して受講するシステムも検討してほしいと思います。

⑤　幼児教育の推進アーカイブ化

○　幼･保･認こ・小･中･高の教職員が研修会等を通して、校種を超えて情報交換したり、それぞれの校種の課題を共有されたり、大学教授を招聘して講演を聴いたりして、年２回実施されていることを高く評価します。西海市の子ども一人一人に寄り添いながら支援していくためにも、今後も継続し、更に充実されることを期待しています。

⑥　教職員の働き方改革の推進

○　「働き方改革」を項目として取り上げ、全市的に取り組んでいることに敬意を表します。学校の主役である「児童生徒」のための教員の「働き方改革」であることを全教職員で共通理解をして、働き方改革に取り組むようにしてください。

（２）　いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

①　学習環境の充実

○　学習環境の充実については、公民館講座が33講座開設できたことを高く評価します。課題にも表記されているように、地域のつながりづくりや学びの社会還元を目指した「多世代を対象とする講座」や「防災関連講」座等の開設を全ての公民館で行い、持続可能な地域づくりを学習する機会の提供を期待します。

○　社会教育施設整備事業については、突発的に対応を求められることもあっていますが、適切に整備が進んでいることを評価します。突発的な対応があることからも分かりますが、各施設とも老朽化が進んでおり、施設の長寿命化はもちろん、統廃合や委譲も含めた施設の在り方については今後大胆に検討していくことを期待します。

○　図書サービスについては、電子図書館サービスや電子申請の導入、BOOKリサイクルフェアの開催など、利用者を増やす努力を継続的に取り組まれていることに敬意を表します。しかしながら、年々貸出冊数や利用者数は減少しています。今後の少子高齢化を踏まえ、まずは人口割合の多い高齢者を対象とした施設（病院や介護施設、デイサービス施設等）や公民館での高齢者講座での関係図書の貸出を検討してほしいと思います。また、市内図書館が連携した取組、たとえば図書館巡りスタンプラリーや特典付き利用スタンプカードの導入などを創意工夫した取組にチャレンジしてほしいと思います。

②　公民館活動の活性化

○　公民館活動の活性化については、自治公民館モデル事業に取り組まれていることを高く評価します。モデル事業での学びを市内で共有し各地区での充実した活動につながるように実践を市広報誌や市ホームページで情報発信・共有してほしいと思います。公民館を地域運営組織や学校運営協議会の中で、「つなぐ・むすぶ・まなぶ」身近な社会教育施設として利活用を進めてほしいと思います。

③　人権・同和教育の推進

○　人権教育については、「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会を開催することで、「人のぬくもりと心の豊かさを実感できる西海市」の実現に向けて取り組まれたことは高く評価します。

（３）　市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

①　家庭の教育力の向上

○　家庭教育は全ての教育の基盤となるものです。ながさきファミリープログラムを市内全校で必ず実施するなど、思い切った取組を行うことも視野に入れてほしいと思います。家庭教育＝親子体験だけではなく、子育て・孫育て・親育てにしっかりと向き合う学びを学校や公民館など、多様な機会に提供されることを強く望みます。

○　コミュニティ・スクールについては、令和７年当初に導入校10校の最終目標値に達成されたことに敬意を表します。学校運営協議会では地域の各種会議を整理統合し、各校区の現状に応じた持続可能なコミュニティづくりを推進されることを期待します。そのためにも、地域学校協働活動をコーディネートする人材【地域コーディネーター】の育成が不可欠です。地域コーディネーター養成・スキルアップ研修会の開催を熱望します。

②　青少年の健全育成

○　青少年の育成については、西海市の合い言葉「は・あ・と・ふ・る」を基盤にした取組が着実に行われていること、併せて各種イベントを通じた周知･啓発活動も順調に推進されていることを高く評価します。今後は持続可能な取組にするために、県の関係機関と連携し、ココロねっこ指導員やメディア安全指導員等の研修会を積極的に開催し、次世代の指導者を育成することを期待しています。

（４）　安心して学べる教育環境の構築

①　安心で望ましい教育環境の実現

○　地域ぐるみの安全確保対策としては、保護者や地域住民による登下校ボランティアの活動が全ての小学校で実施されていることは素晴らしいことだと思います。線状降水帯や竜巻などの予想が難しい自然災害も多くなってきているので、登下校の安全確保は重要だと思います。

○　校種間での連携強化については、地域の実態に合わせて、小･中連携、中・高連携、幼保・小・中・高連携などつながりを意識的に持つことが大事だと思います。コミュニティ・スクールや地域運営組織も活用しながら、校種間の連携を進めてほしいと思います。

○　放課後の子どもの居場所づくりについては、放課後の居場所づくりとしての放課後子ども教室とふるさと学習を行う土曜学習の二本立てで実施されていること

を評価します。西海市では、放課後子ども教室は１箇所での実施、中学生を対象とした学習支援を行う地域未来塾は未実施なので、コミュニティ・スクールや地域運営組織での展開も視野に入れて検討してほしいと思います。

○　奨学金・就学援助制度については、奨学生の市内定住率が向上したことを高く評価します。経済的な理由等で就学が困難な児童生徒を支援する制度はふるさとを愛し誇りを持つ児童生徒の育成のためにも重要な事業です。継続し、更に充実されて取り組まれることを期待します。

○　市内高等学校の活性化支援については、成果指標の達成は難しい状況でありますが、今後の県立高等学校の再編の動向を見守りながら、事業継続をするしかないと思います。各校で特色ある学校づくりを進め、高校生による中学校への出前講座で各高等学校の特色･魅力を中学生に伝える機会を設けることを期待します。

②　安全で快適な教育施設の整備

○　学校校舎等については、老朽化が著しい現状もあることから、年次計画に沿って長寿化されていることを評価します。各種施設の老朽化も進んでいますので、社会教育施設等との集約化や義務教育学校への統廃合も含め、誰にでも優しく安全な教育環境の実現を推進されることを期待します。

（５）　地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

①　文化・芸術活動の推進

○　文化･芸術を通じた地域内外の交流については、文化協会などの関係団体と連携し、国事業を活用した事業や日米交流音楽祭2025を開催できたことを評価します。また、教育委員会が文化協会による主要事業を支援したり、文化協会広報誌を発行したりして、昨年度より文化施設利用者数や文化協会会員数が増加していることを高く評価します。

②　文化財の保存・保護・活用

○　ミュージアムのテーマ研究が進んでいることは評価します。市内３館の歴史民俗資料館の入館者数は年々減少していますが、市内小中学校での「西海学」の授業や公民館講座、交流人口を増やす事業、西海市をステージとしたツアー等の連携も含め、更なる利活用を検討してほしいと思います。

○　文化財の情報提供については、継続的な情報発信がされていることを評価します。ガイドブックの改訂版の発行も予定されていますが、紙媒体だけでなく、様々なメディアでの活用も検討してほしいと思います。また、地域に残る様々な伝統文化の記録保存は教育委員会の重要な使命だと思いますので、計画的に取り組み、後世に残してほしいと思います。

③　活力あるスポーツの振興

○　生涯スポーツについては、事業数は昨年度に比べて増えたものの、成果目標にはまだまだ届きません。ニュースポーツ講座をきっかけに、誰もが楽しめるスポーツの周知・啓発に加えて、多世代をつなぐことも視野に入れて取り組んでほしいと思います。体育施設も老朽化が進んでいますが、最近頻発している自然災害にも対応する安全安心な防災施設として、計画的な整備を進めてほしいと思います。

○　スポーツ指導者の育成については、研修会での学びを市内で伝達する研修会を開催したり、スポーツ推進委員が関わる講座等で情報共有したりして、資質向上と後継者育成を図られることを期待します。そのためにも、今以上にスポーツ推進委員が活躍できる環境作りをしてほしいと思います。

○　競技スポーツの推進については、これまでの取組に加えて、西海市在住の高校生や西海市出身の大学生・社会人が講師となって、競技力向上を目指す講習会を開催するなど、ふるさとの「ひと」を活用したアスリートの育成を期待します。また、Ｖ・ファーレン長崎や長崎ヴェルカとのホームタウン活動をさらに進められることを期待します。

④　スポーツ環境の充実

○　スポーツ環境の整備については、体育施設の整備の進捗状況が厳しい中、令和７年度に策定される長寿命化計画に基づいた施設の維持管理の推進を期待しています。

令和７年１０月１日

椋本博志

上野　昭博　氏

西海市教育委員会が令和６年度の所管事務について行った、自己点検及び評価に対する私の所見を申し述べます。

まず総評として、「教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価」の対象となる令和６年度は、令和３年度に改定した「第二期西海市教育振興基本計画」の３年目にあたり、それぞれの施策が的確に進められていることに敬意を表します。前年度までの成果や課題をもとに、PDCAサイクルを通じて施策の改善を図り、多くの事業で確実に成果を上げていますことを高く評価するものです。

特に、重点施策全体では、Ａ評価が半数以上を占め高い自己評価となっていることは、各課が目標の達成に向けて真摯に職務を遂行してきたことが成果につながったものと考えます。

一方で、自己評価がＢ以下に留まった施策においては、成果指標の設定において課題があるものと考えます。PDCAサイクルを通じて教育施策を改善することが目的ではありますが、成果指標については、様々な状況の変化に合わせて変更をするなど柔軟に対応する必要があるものと考えます。

今後とも、SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を踏まえて施策に取り組むことにより、豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくりに努めていただきたいと思います。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

１．教育委員会の活動状況について

教育機関等との連携を図るため、小・中学校の学校行事への出席、中学校の研究発表会への出席や計画的な訪問による指導・支援が適切に行われていることが評価できます。

社会教育委員との意見交換等が実施されており、多様化している市民のニーズに迅速に対応しようとする姿勢がうかがえます。

地域住民の教育行政に関する理解と協力を得るために、今後も教育委員会の情報が積極的に提供されることを望みます。

２．教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされております。特記する事項はありません。

３．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

（１）　生きる力をはぐくむ学校教育の実現

①　能力や個性を伸ばす教育の推進

○　教師の授業力の向上を目指して、すべての教師が研究授業を実施し、管理職員、学力向上スーパーバイザー、指導主事等の指導を受け、日々の授業改善に努めて

いることは大いに評価します。学力については、各種学力調査の結果等を踏まえ、市や中学校区、各学校等、研修や授業改善に組織的に取り組む必要があると考えます。今後も、担当者会や指導主事による学校訪問等により、児童生徒の学力定着のため授業改善の取組を進めてほしいと思います。

家庭学習時間については、目標を大きく下回る結果となっています。各学校で「家庭学習の手引き」等を作成し、家庭と連携して取組が進められているものと思いますが、目標が未達となっている理由・問題点を確認し、児童生徒の充実した家庭学習に必要となる手立てが確実に実施されることを期待します。

○　小学校９校、中学校４校及び教育支援センターに学習支援員を22名配置し、校内支援体制の充実に努めていることは大いに評価できます。通常の学級にみられる合理的配慮を必要とする児童生徒の増加も今後見込まれるため、事業の継続が望まれます。また、専門機関と連携した相談会や幼・保・認こ・小・中・高の合同研修会を複数回実施するなど、各機関との連携や校種間・学校間の連携を図る上で効果的な取組と考えます。保護者の抱える不安は、児童生徒に大きく影響するものであり、保護者を支援する取組は高く評価できるものです。今後も児童生徒はもちろんのこと、その保護者をも対象とした支援について、関係諸機関との連携のもと継続した取組に期待するものです。

○　ALTや英語教育指導員の配置、「エンジョイ！イングリッシュ」の取組が、児童生徒の英語学習への意欲向上と国際理解を深めることにつながっていることなどは高く評価するものです。しかし、中学校の英語科においては、学んだことの定着や活用には大きな課題があり、小中間の接続やカリキュラムの活用についての見直し、授業改善等、課題解決に向けて、さらに検討を深めていくことを望みます。

地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するためには、地域資源の教材化や地域住民の学校教育への参画は必要不可欠です。今後は、コミュニティ・スクールの機能を生かし、学校運営協議会の一層の充実に期待します。

②　豊かな心とふるさとを学ぶ教育の推進

○　施策の方向性として「教職員を対象にした研修会を開催し、指導内容の理解と確実な実施を図る」ことが示されています。道徳教育推進教師等を対象とした市独自の研修会が実施されていることを高く評価するとともに、学校内の道徳教育リーダーの育成に期待します。

○　教科書の改訂等に応じ、社会科学習の副教材の内容を定期的に見直して作成していることを高く評価します。小学校で実施する「西海学」においては、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深める取組となるよう工夫ある取組に期待します。

○　各小・中学校の蔵書冊数は、「学校図書館図書標準」による目標冊数に達するとともに、西海市学校図書館運営マニュアルに基づいて、図書の廃棄が適切に行

われています。また、西海市学校図書館運営マニュアルには、学校図書館の役割として「読書センター」「学習センター」「情報センター」の三つが明記されています。学校図書館がこれらの役割を果たすためにも、学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の継続した配置が強く望まれます。

平日の読書時間の割合は、小・中学校ともに目標値を大きく下回っています。今後は、家庭と連携した家庭学習への読書の位置付けや、成果指標の見直し等、検討をお願いします。

○　心の教室相談員の配置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制の整備など、不登校の子供や保護者に寄り添いながら改善を図っていることに敬意を表します。不登校についての結果はすぐには出ないため、短期・中期・長期の対応が必要であると考えます。

○　各小・中学校が策定した「いじめ防止基本方針」に則り、いじめの早期発見・早期解決に努め、100％の解決を維持していることを高く評価します。いじめに関する児童生徒への定期的なアンケートの実施等により把握した内容について、必要に応じて対応を指導し、解消率100％を維持できるよう努めてください。

③　健康で安全な学校生活の実現

○　市内小学生の朝食の欠食率が増加傾向にあります。朝食を食べる習慣について、学力向上の取組への位置付けや食育指導での働きかけに加え、学校・家庭・地域が連携した「は・あ・と・ふ・る運動」の一層の推進に期待します。

○　各学校において、体力テストの結果をもとに「体力向上アクションプラン」を作成し、改善が図られています。体育の授業及び教育活動全体を通した取組となるよう進めてほしいと思います。

運動部活動の地域移行に伴い、部活動指導者の確保が必要であるとともに、「西海市部活動の地域移行推進計画」においては、「指導者は技術的な指導のみならず、教育的要素についても理解した人物が指導にあたることが望ましい。」と明記されています。今後も、部活動の顧問や部活動指導者を対象とした研修の充実に努めてください。

○　学校給食における地場産物の使用については、高い使用率を維持しています。地場産物が食育の「生きた教材」となり、生産者や自然の恵みに感謝する心を育む食育の充実につながることを期待します。また、防災機能を有した「防災食育施設」の整備が待たれるところです。引き続き、市長部局と連携し事業を推進していただきたいと思います。

④　教職員の資質の向上

○　教職員の資質向上、指導力向上を目指し、各省令主任等の担当者が定期的に集まる研修会と自主的に自己の研鑽に努める選択制の研修会が実施されています。定期研修会は、学校間の情報交換等により、担当する校務分掌や学校の活性化に

つながっているものと評価します。選択研修は、長期休業期間を活用し、学校の今日的課題である「不登校等対応」「ICT活用」についての研修が実施されており、大いに評価するものです。今後も、学び続ける教職員のニーズに即した研修の継続をお願いします。

○　各校への指導主事派遣は、校内研究の充実につながるものとして継続した取組に期待します。また、研究指定校による研究の成果・課題は市全体で共有できるものであり、継続した事業の展開に期待します。

⑤　幼児教育の推進

○　幼・保・認こ・小連携は、子供たちが幼児教育から小学校教育へスムーズに適応するために不可欠であり、幼・保・認こ・小・中・高の合同研修会を複数回実施したことは、校種間の連携を図る上で効果的な取組と考えます。教職員間の情報交換や引継ぎに留まらず、学びの連続性の確保に努めていただきたいと思います。

⑥　働き方改革の推進

○　各校における業務負担軽減の取組は、教職員の意識改革につながるものとして評価できます。部活動指導員の配置を増やすなど、具体的な取組により、更なる軽減が進むことを期待します。

（2）　いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

①　学習環境の充実

○　多くの各種講座が開設され、市民の選択肢の広がりは評価に値するものと考えます。今後も時代に応じた講座の開設に期待します。整備が必要な社会教育施設については、計画的な改修等の工事が望まれます。学習環境の充実に向けて、長寿命化改修などに適切に取り組むことを期待します。

○　有資格者の配置人数が増加されたことや電子図書館の体験コーナーが設置されたことなどは評価できます。貸出冊数等は、市内の人口減少や少子高齢化の影響も考えられるので、成果指標と評価の柔軟な対応が必要と考えます。

○　乳児検診時のブックスタートやBOOKリサイクルフェアなど、市民にとって魅力的なイベントが開催されていることを大いに評価します。今後も、本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会の取組に期待します。

②　公民館活動の活性化

○　自治公民館モデル事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進されていることを大いに評価します。本事業の積極的な活用により、一層の住民協働の地域づくり推進に期待します。

③　人権教育の推進

○　「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会という名称で開催される大会が、「は・あ・と・ふ・る運動」の広がりにつながるものと期待しています。本事業においても、成果指標と評価の柔軟な対応が必要と考えます。「は・あ・と・ふ・る運動」啓発作品コンクールについては、小・中学生のみならず、公民館活動や学校運営協議会等、学校・家庭・地域が一緒に取り組み、「は・あ・と・ふ・る運動」が広く市民に根差した運動となることで、人権教育が推進されることを期待します。

（３）　市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

①　家庭の教育力の向上

○　県の実施する事業を活用した間接的な支援や家庭教育講座の開設は、評価に値するものと考えます。今後も、家庭教育学級について、西海市PTA連合会や単位PTAに対して補助制度の周知を図るなど、保護者への子育て支援につながる取組に期待します。

○　地域とともにある学校づくりに向けて、学校運営協議会をすべての小学校に導入して地域住民の学校教育への参画を目指している点は高く評価できます。学校運営協議会を通じて地域の声を学校運営に反映させ、特色ある教育活動が推進されることに期待します。

②　青少年の健全育成

○　西海市子ども夢基金を活用した助成件数が20件に上り、子ども体験活動事業が推進されていることを高く評価します。

　学校の依頼によりメディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話が行われていることは評価に値するものと考えます。メディア安全指導員の登録者数も評価の指標とはなるものですが、利用推進の面からの視点も重要であると考えます。

（４）　安心して学べる教育環境の構築

①　安心で望ましい教育環境の実現

○　登下校の見守りについて、学校と保護者・地域住民との連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制が構築されていることは高い評価に値するものです。通学路の点検や整備についても、行政内外の諸機関と連携を密にしながら、児童生徒の安全確保に全力を尽くしてほしいと思います。

○　大島・崎戸地区においては小・中・高が、西彼地区においては中・高が連携した特色ある教育活動が展開されており、大いに評価するものです。

○　「放課後子ども教室」の開設や「土曜学習」事業が開設され、子供たちの学習や体験活動が実施されています。放課後等の子供たちの安全な居場所づくりは、

高く評価できます。

○　奨学金制度は、教育の機会均等を図り、広く人材を育成する事業として高く評価できます。制度の充実に努め、継続した取組に期待します。

○　就学援助の支給等は、教育の機均衡等に寄与する重要な施策であり、一層の充実を図り取組の継続をお願いします。

○　市内高等学校の活性化支援は、人口減少や少子化に伴い、成果指標の達成は困難な状況が続いていますが、小・中学生と高校生との交流や高校の魅力発信、高校への通学の利便性向上等、事業の充実と推進を望みます。

②　安全で快適な教育施設の整備

○　施設の老朽化に伴う改修工事は、緊急性の高い案件にも対応しながら計画的に進められているものと評価します。今後市との更なる連携のもと、学習環境の充実に向けて、長寿命化改修などに適切に取り組むことを期待します。

○　教職員の選択研修において「ICT活用」についての研修を実施するなど関連した取組がなされており評価するものです。教職員のICT活用能力を高めるとともに、教職員の業務負担軽減につながることを期待します。

○　教職員住宅が整備されることにより、人事異動に伴って市外から本市に勤務する教職員の通勤に伴う負担の軽減等が図られます。教職員住宅の新築や改修、予算の確保等、評価に値するものであり、一層の改善が図られることを期待します。

（５）　地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

①　文化・芸術活動の推進

○　国の事業も利用したイベントの開催は、多くの市民が優れた文化芸術と触れ合う機会の創出として、大いに評価するものです。文化施設の利用者数や文化協会への加入者数が前年から増加していることは、文化・芸術活動の成果であると考えます。

②　文化財の保存・保護・活用

○　国指定文化財の保存活用計画の冊子作製や市指定有形民俗文化財の映像記録制作等、文化財の研究・保存が計画的に進められていることは高く評価するものです。歴史民俗資料館の入館者数が減少傾向にあることについては、公民館講座や土曜学習、学校教育課事業「西海学」等の連携した取組に期待します。

③　活力あるスポーツの振興

○　スポーツ推進委員がスキルアップのため研究大会に参加して指導力の向上を図るとともに、スポーツ推進委員を介して各種スポーツ教室を開催するなど、活力あるスポーツの振興に努めていることは評価するものです。また、市内の小学生を対象にしたスポーツ教室の開催など、スポーツの競技力向上に努めています。

インターハイや国民スポーツ大会等での市内高校生の活躍は、一層活力あるスポーツの振興につながるものと思います。

④　スポーツ環境の充実

○　体育施設の老朽化に伴う整備改修工事は、緊急性の高い案件を考慮しながら進められているものと思います。市民にとってより快適で安全性を確保するため、計画的に整備改修を実施し、スポーツ環境の充実に努めていただきたいと思います。

○　市民へ市広報誌、西海市スポーツ協会公式ホームページによる各種スポーツイベント等の情報提供は、スポーツ環境の充実につながるものとして成果が現れているものと考えます。今後も継続して、スポーツの推進体制づくりが進められることを期待します。

令和７年１０月７日

工野昭博

Ⅲ　自己点検・評価一覧表

１．教育委員会の活動状況について

１）活動状況総括表

中項目	小項目	６年度	５年度	内容等
１．教育委員会の構成	①構成数	５人	５人	うち、小中学校の保護者１名
	②平均年齢	58歳	60歳	44歳・１名、53歳・１名 63歳・１名、65歳・２名 （令和７年３月31日現在）
	③性別	男性３名 女性２名	男性３名 女性２名	
２．教育委員会会議の運営及び情報発信	①会議開催数	12回	15回	定例・臨時教育委員会を15回開催した。
	②会議傍聴者数	５人	３人	教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③会議録の公表状況	６件	15件	市ウェブサイトへの公開が未了のものがあった。
３．市長との連携	①意見交換会の状況	２回	２回	7/24、10/29に開催された総合教育会議において、市長との意見交換を実施した。
４．教育機関等との連携	①学校への訪問	18回	13回	入・卒業式や、中学校の研究発表会および計画訪問など、18回の学校訪問を行い、延べ21名の教育委員が出席した。
	②その他社会教育施設への訪問	０回	０回	令和６年度は実施できなかった。
	③長崎県教育委員会との意見交換	２回	２回	県市町村教育委員会連絡協議会等に参加した。
	④社会教育委員との意見交換	１回	０回	西彼杵高校バレーボール部を見学したのち意見交換を行った。
５．教育委員の自己研鑽	①研修会への参加状況	２回	２回	新任の委員が長崎県市町村新任教育委員研修会に参加したほか、同研究大会へ４名が参加した。

２）小中学校訪問状況

年　月　日	曜日	学　校　名	参加委員数	備　考
令和６年４月９日	火	市内小学校	４名	入学式
令和６年４月９日	火	市内中学校	４名	入学式
令和６年10月18日	金	西彼中学校	２名	研究発表会
令和６年11月５日	火	大崎中学校	２名	学校訪問
令和６年11月29日	金	西海中学校	２名	研究発表会
令和７年３月13日	木	市内中学校	３名	卒業式
令和７年３月14日	金	市内小学校	４名	卒業式
計			21名	

３）長崎県教育委員会との意見交換

年　月　日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和６年５月28日	火	長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会及び合同研修会	４名	
令和６年10月30日	水	長崎県・市町委員会連携会議	１名	
計			５名	

４）研修会への参加状況

年　月　日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和６年11月21日	木	長崎県市町村新任教育委員研修会	１名	
令和６年11月22日	金	長崎県市町村教育委員会研究大会	４名	
計			５名	

２．教育委員会が管理・執行する事務について

１）教育委員会の審議状況

中項目		活動指標	６年度	５年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	３件	４件	部活動の地域移行の在り方についての中間答申などについて審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	25件	31件	教育委員会規則12件、要綱８件、訓令５件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	０件	２件	令和６年度は該当なし
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	１件	４件	市内小中学校教職員の人事異動等について審議した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	２件	１件	教育委員会の自己点検・評価について審議した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	７件	７件	当初予算及び補正予算について審議した。
		条例関係検討件数	２件	４件	西海市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定他１件について審議した。
		その他検討件数	０件	４件	令和６年度該当なし
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	０件	０件	令和６年度該当なし。

中項目		活動指標	６年度	５年度	内容等
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	１件	１件	小学校教科用図書の採択について審議した。
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	０件	０件	令和６年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	検討件数	23件	23件	西海市就学支援委員会委員の委嘱等の委嘱について審議した。
11	市文化財の指定又は解除に関すること	検討件数	０件	１件	令和６年度該当なし
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	０件	０件	令和６年度該当なし。
13	１件1,000万円を超える事業計画に関すること	検討件数	０件	０件	令和６年度該当なし
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行うこと	申出件数	０件	３件	令和６年度該当なし
15	その他	検討件数	４	１件	教育文化スポーツ功労表彰、江島・平島地区の学校給食費標準単価について審議した。
計			69件	87件	

（参考）西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件　　名	結果	中項目
第4回定例会	議案	第35号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第36号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第37号	西海市立小・中学校省令主任等の任命について	原案可決	10
	議案	第38号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案可決	10
	議案	第39号	西海市立図書館協議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第40号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第41号	西海市部活動の地域移行あり方検討委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第42号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第43号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
第5回定例会	議案	第44号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第45号	西海市学校薬剤師の委嘱について	原案可決	10
	議案	第46号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第47号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第48号	西海市学校運営協議会委員（西海市立大串小学校、西彼北小学校、西海北小学校、西海小学校、大崎小学校、大瀬戸小学校、江島中学校）の委嘱について	原案可決	10
	議案	第49号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第50号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第51号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第52号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第53号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第１号）	原案可決	6
	議案	第54号	西海市自治公民館モデル事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第55号	西海市自治公民館活動支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2

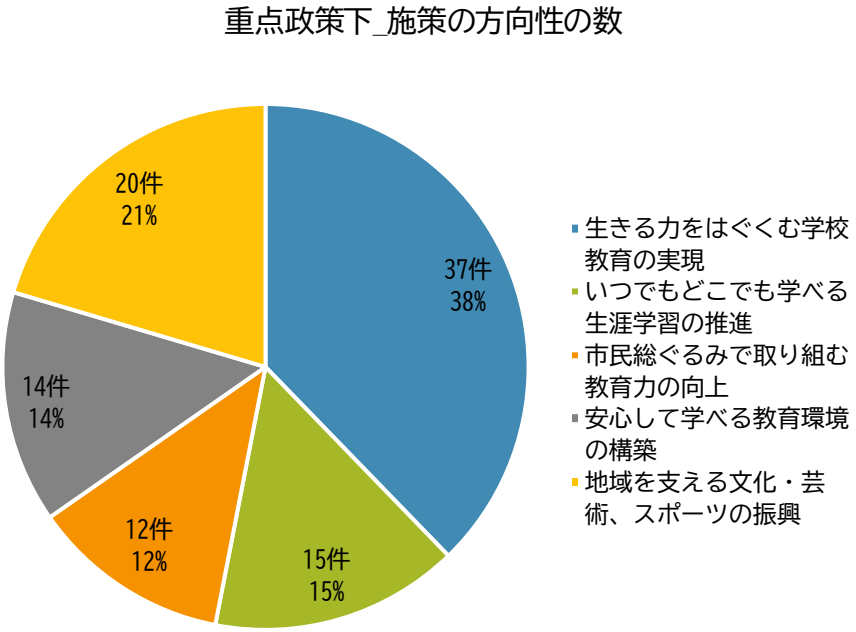
会議	種別	番号	件　　名	結果	中項目
	議案	第56号	西海市防災食育施設整備事業プロジェクトチーム設置要綱の制定について	原案可決	2
	報告	第１号	令和５年度教育費補正予算（第７号）に係る臨時代理の承認について	原案承認	6
第6回定例会	議案	第57号	西海市通学路安全推進会議設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第58号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第59号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第60号	西海市中学校部活動の地域移行のあり方について（中間答申）	原案可決	1
第7回定例会	議案	第61号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第62号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案可決	10
	報告	第２号	西海市スポーツ推進審議会への諮問について	原案承認	1
	報告	第３号	西海市スポーツ推進審議会の建議について	原案承認	1
第8回定例会	議案	第63号	令和５年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続審議	5
	議案	第64号	令和７年度使用中学校教科用図書の採択について	原案承認	8
	議案	第65号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第２号）	原案承認	6
	議案	第66号	行政財産の用途廃止について	原案承認	14
	議案	第67号	西海市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について	原案承認	2
	議案	第68号	崎戸町江島地区及び同平島地区の標準単価の改正について	原案承認	15
第9回定例会	議案	第69号	西海市奨学資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決	2
	議案	第70号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第71号	西海市学校給食費物価高騰対策事業補助金交付要綱の制定について	原案可決	2
第10回定例会	議案	第63号	令和５年度西海市教育委員会自己点検・評価について	原案可決	5
第11回定例会	議案	第72号	令和６年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案可決	15

会議	種別	番号	件　　名	結果	中項目
	議案	第73号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第74号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第４号）	原案可決	6
第12回定例会	議案	第75号	令和６年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の追加決定について	原案可決	15
	議案	第76号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第77号	西海市学校給食費徴収規則及び西海市立学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第78号	西海市学校給食費補助金交付要綱及び西海市学校給食費物価高騰対策事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について	原案可決	2
	議案	第79号	西海市学習用通信機器整備支援事業補助金交付要綱を廃止する告示の制定について	原案可決	2
第1回定例会	議案	第１号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第６号）	原案可決	6
	議案	第２号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第３号	西海市教育支援センター設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	報告	第１号	令和６年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の追加決定に係る臨時代理の承認について	原案承認	15
第2回定例会	議案	第４号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第５号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第７号）	原案可決	6
	議案	第６号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（令和７年度教育費予算）	原案可決	6
	議案	第７号	西海市立小学校及び中学校処務規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第８号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2

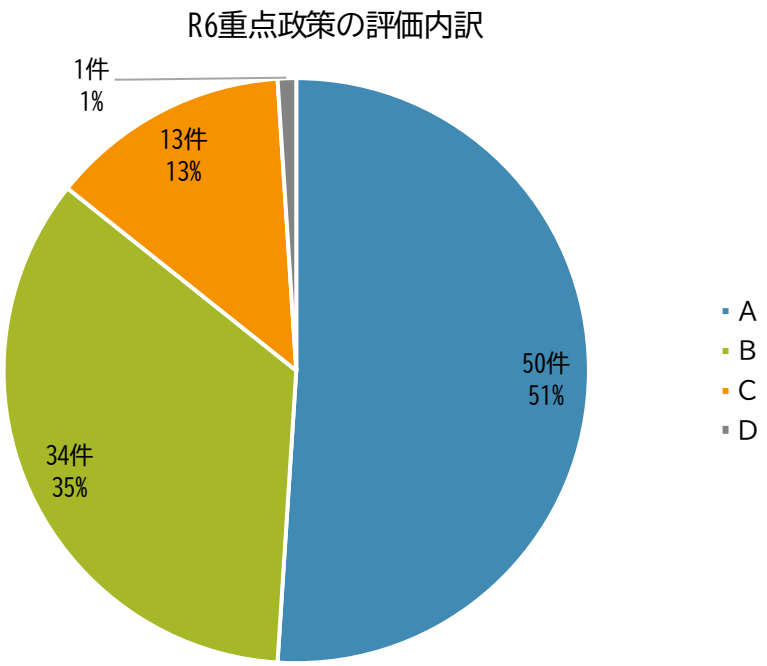
会議	種別	番号	件　　名	結果	中項目
	議案	第９号	令和７年度教職員人事異動について	原案可決	4
第3回定例会	議案	第10号	西海市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案可決	10
	議案	第11号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第12号	西海市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第13号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第14号	西海市教育委員会が規則で定める文書における公印の押印省略の特例に関する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第15号	西海市教育委員会が告示で定める文書における公印の押印省略の特例に関する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第16号	西海市教育委員会が訓令で定める文書における公印の押印省略の特例に関する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第17号	西海市教育委員会が規則で定める申請書等における押印の取扱いの特例に関する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第18号	西海市教育委員会が告示で定める申請書等における押印の取扱いの特例に関する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第19号	西海市教育委員会が訓令で定める申請書等における押印の取扱いの特例に関する訓令の制定について	原案可決	2

３．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価概要

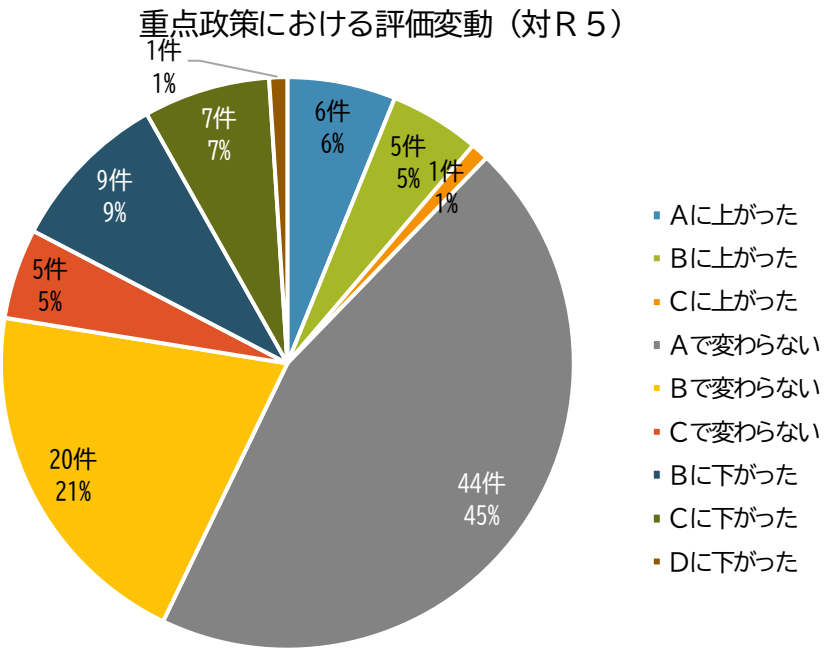
１）重点政策に見る事務事業の評価状況



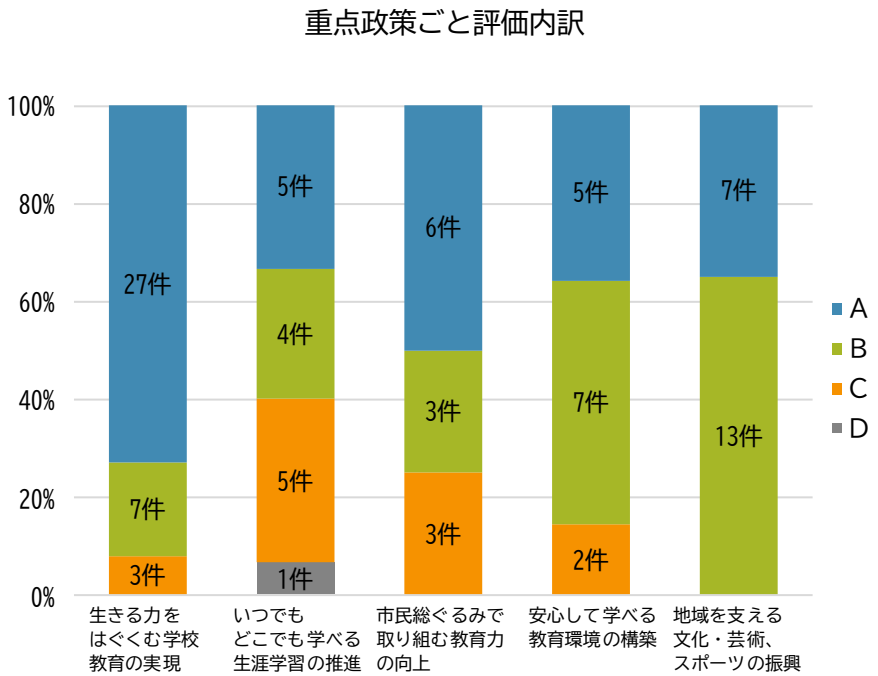
西海市教育振興基本計画の体系に示す、今後10年間に目指す重点政策下で実施する事務事業は総数98件で内訳は上記のとおり。



重点政策下の事務事業98件の６年度評価内訳は、Ａ評価がほぼ半数、Ｂ評価が３割強、Ｃ評価が１割強という結果であった。

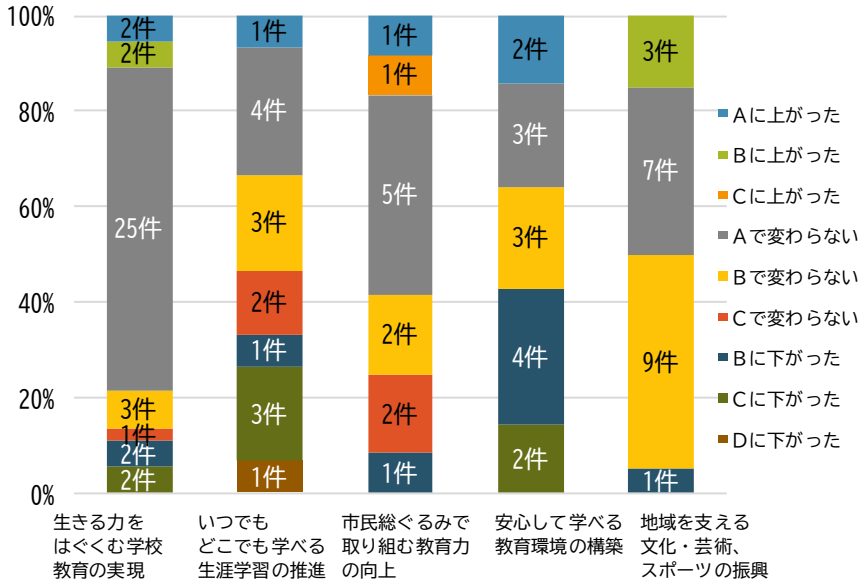


重点政策下の事務事業98件の評価に関し、６割強の項目でＡまたはＢ評価を維持し、１割強の項目で評価の改善が見られたが、２割弱の項目で評価を下げる結果となっている。



Ａ評価またはＢ評価が大部分を占める項目がある一方で、政策領域によっては、Ｃ評価の割合が高くなるなど、評価の分布に明確な違いが見られる。また、生涯学習分野においては唯一Ｄ評価をつける結果となった。

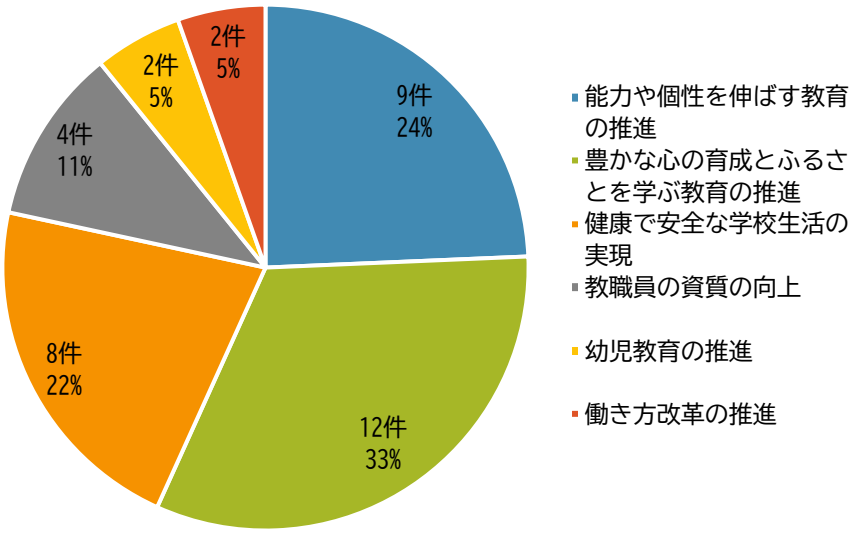
重点政策ごと評価変動



全体として、各重点政策によって評価変動のパターンが異なり、ＡまたはＢ評価の維持が中心の政策領域がある一方、評価の下降が相対的に多く見られる政策領域もあるなど、政策ごとの特性が示される結果となった。

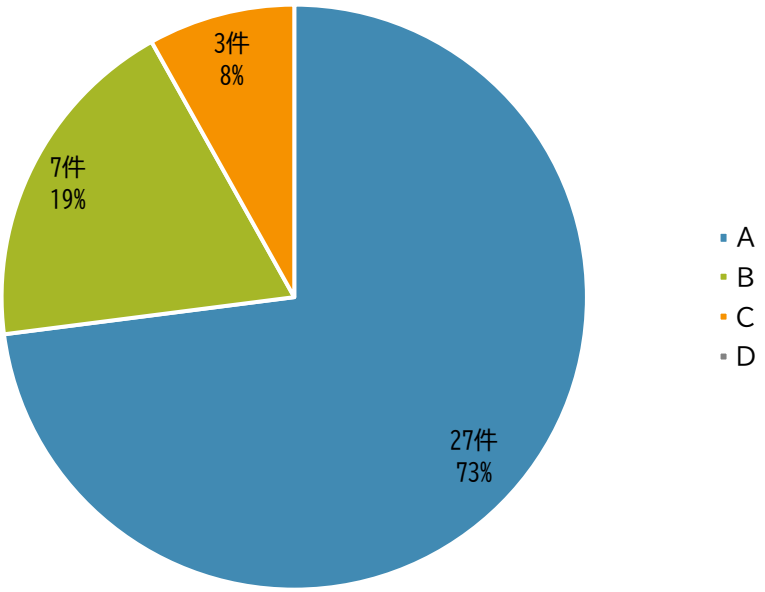
２）重点政策１「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」評価状況

生きる力をはぐくむ（略）_主要施策下事務事業内訳

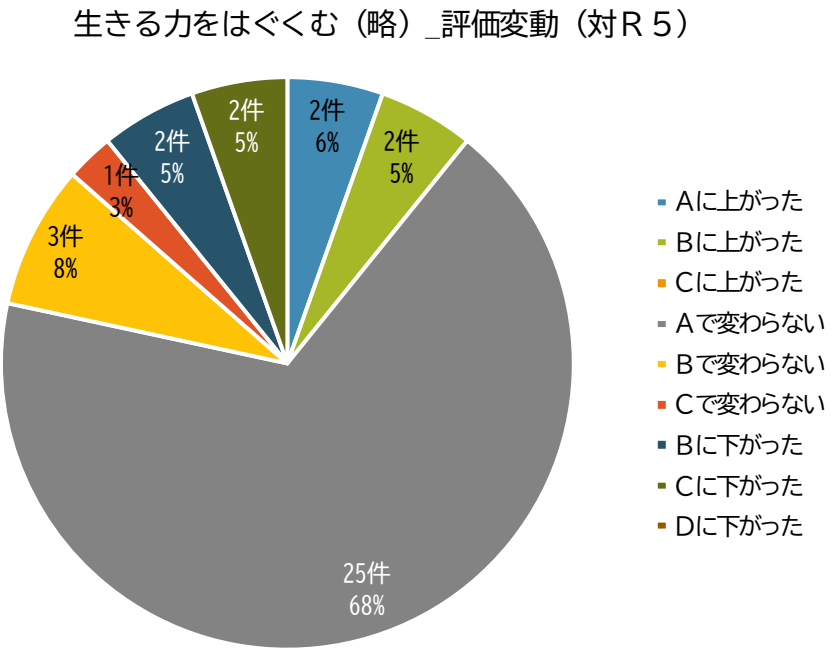


重点政策１に属する事務事業は総数37件で、内訳は上記のとおり。

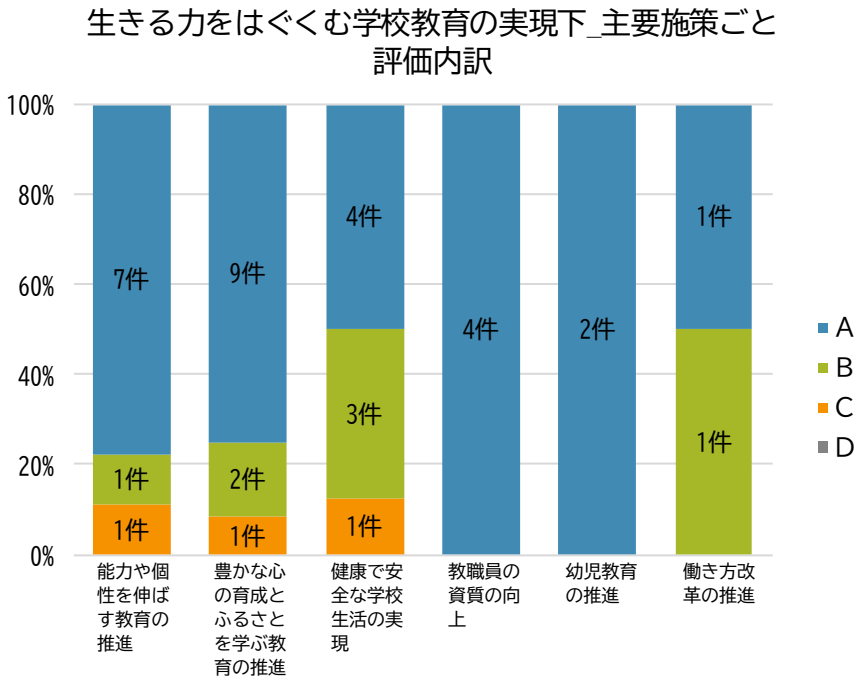
生きる力をはぐくむ学校教育の実現_評価内訳



重点政策１に属する事務事業の評価内訳は、Ａ評価が７割強、Ｂ評価と合わせると９割強を占め、特にＡ評価の出現割合が高い。概ね政策目的に沿った成果を出せているものと評価できる。

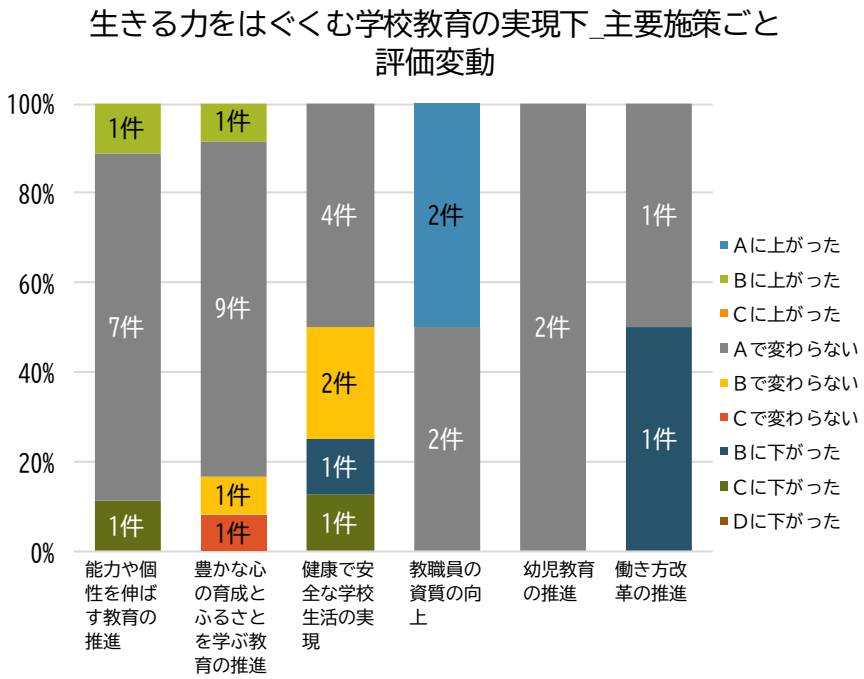


重点政策１に属する事務事業37件の評価は、ほとんどの項目でＡ評価を維持しつつ、評価の変動は小幅にとどまっている。一部評価が下がった施策も見られるが、その割合は比較的低い結果となった。



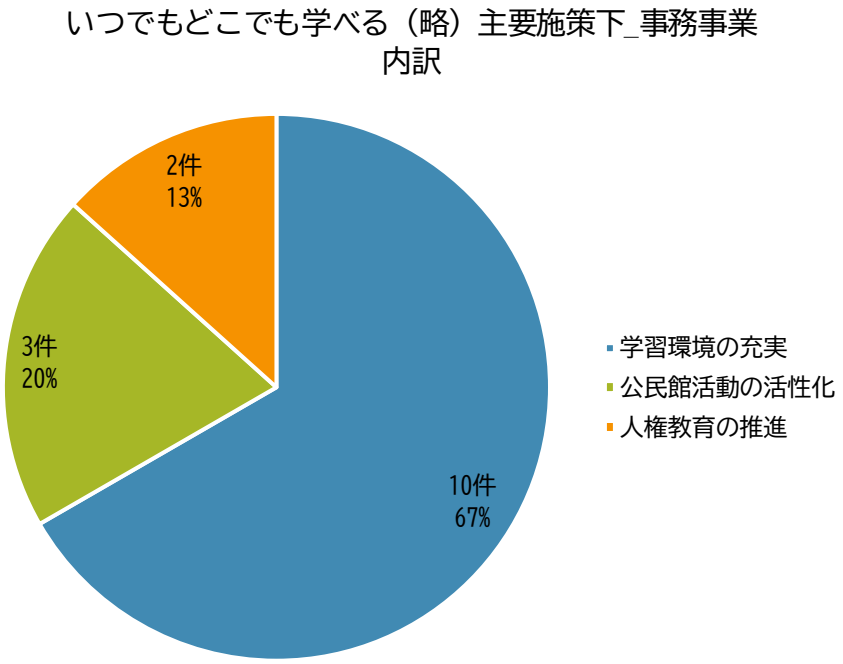
主要施策ごとの評価では、一部Ｃ評価が見受けられる項目があった。

主要施策ごとの評価では、Ａ評価又はＢ評価がほとんどであり、Ｃ評価も全体の１割程度、Ｄ評価の項目は該当がなく、重点政策１全体において一定程度の成果を出していることがうかがえる結果となった。

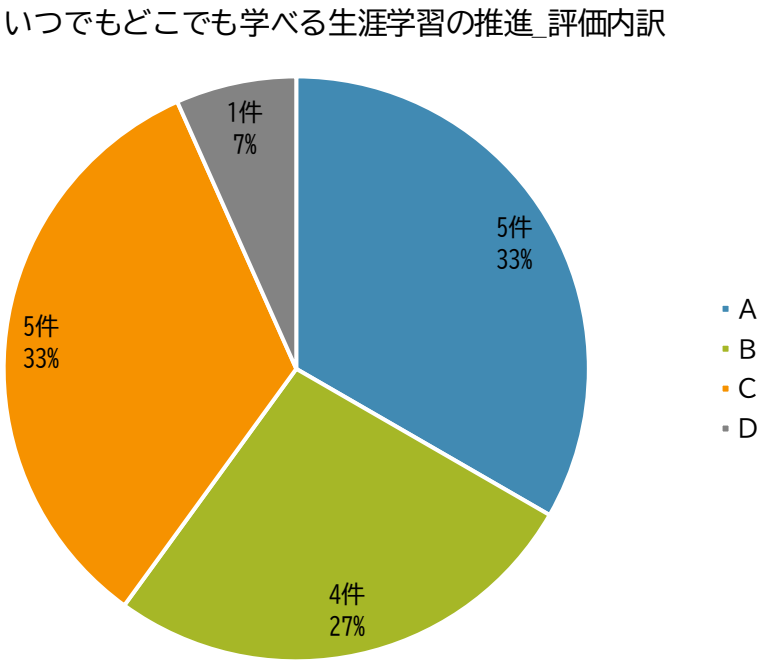


重点政策１に属する主要施策下の事務事業の評価は、前年度からのＡ評価を維持しているか、あるいは評価が向上している傾向にある一方で、一部評価の低下も見られるなど、施策によって評価変動の状況は多様な結果となった。

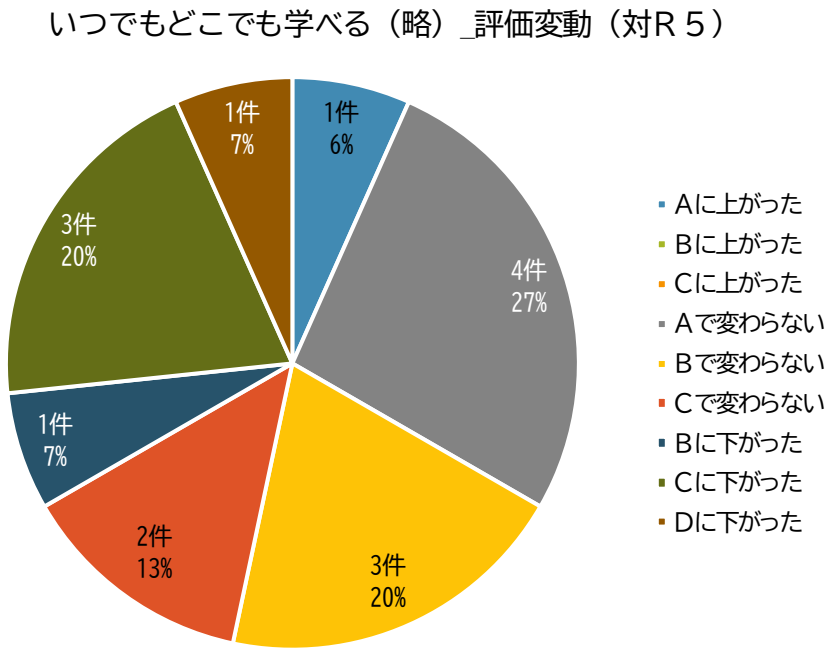
３）重点政策２「いつでもどこでも学べる生涯学習の推進」評価状況



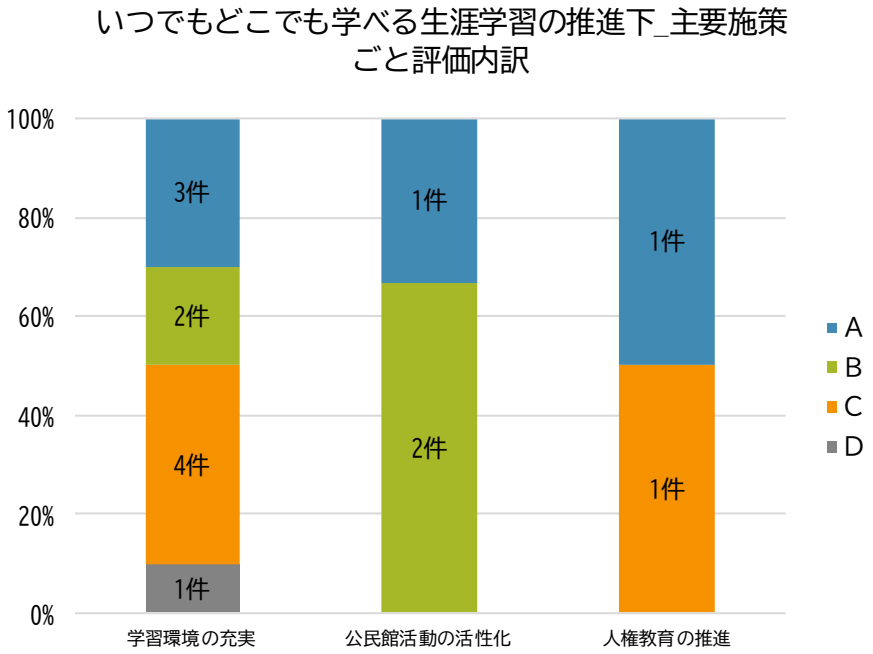
重点政策２に属する事務事業は総数15件で、内訳は上記のとおり。



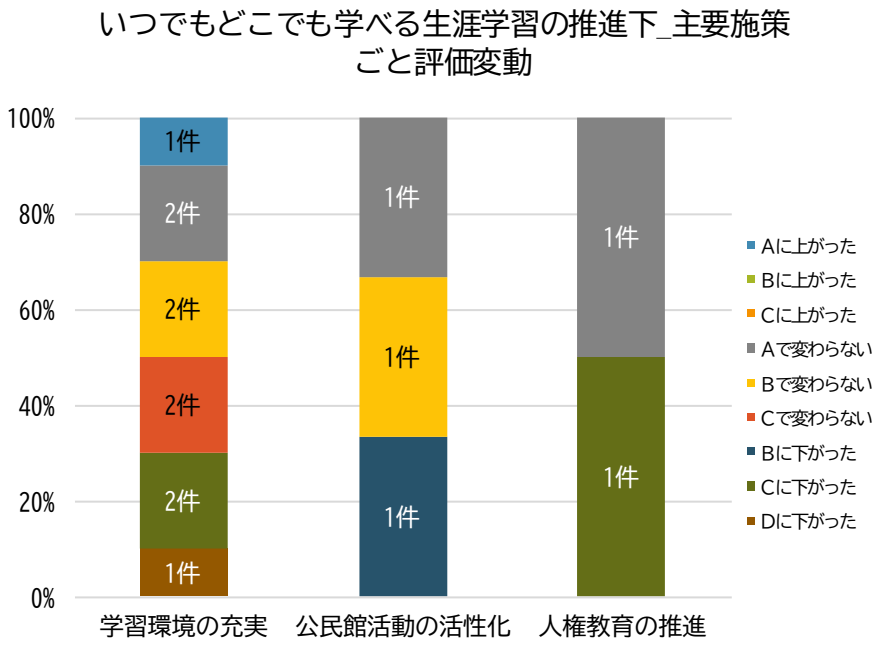
重点政策２に属する事務事業の評価は、Ａ評価ないしＣ評価がそれぞれ３割程度で分散しているという特徴がある。これは、成果を出せている施策がある一方、改善が必要とされる施策も無視できない割合であることを示唆するものとなっている。



重点政策２に属する事務事業15件の評価は、全体としてＡ評価を維持した施策が最も多いものの、Ｃ評価に下がった施策の割合が２割と比較的高ウェイトを占めるという特徴が見られる一方、評価が向上した施策は１割に満たない結果となった。

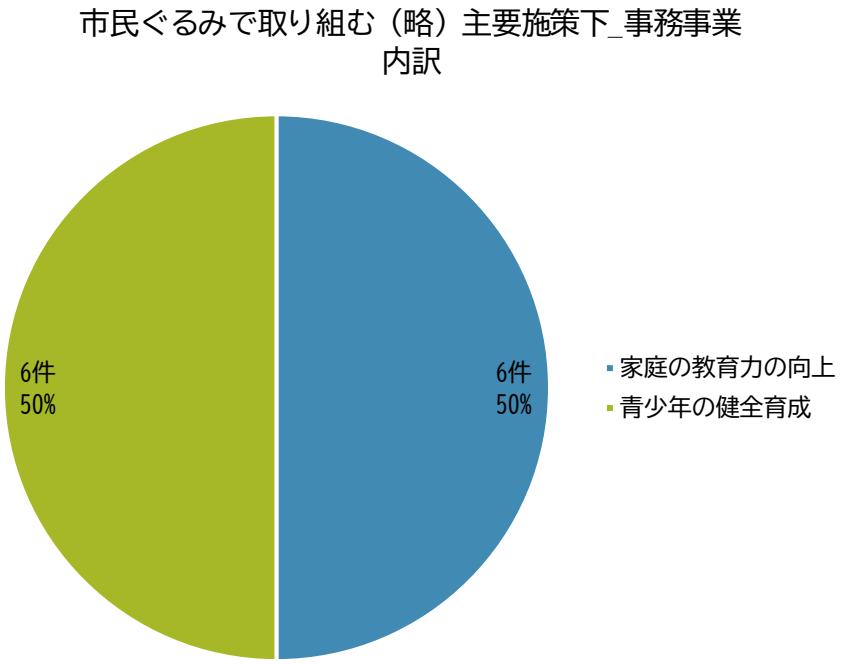


主要施策ごとの評価では、施策によって評価の内訳が大きく異なり、また一部を除きＡ評価の割合が低く、Ｃ評価の割合が高い傾向がみられる。また、全事務事業で唯一Ｄ評価をつける結果となっている。

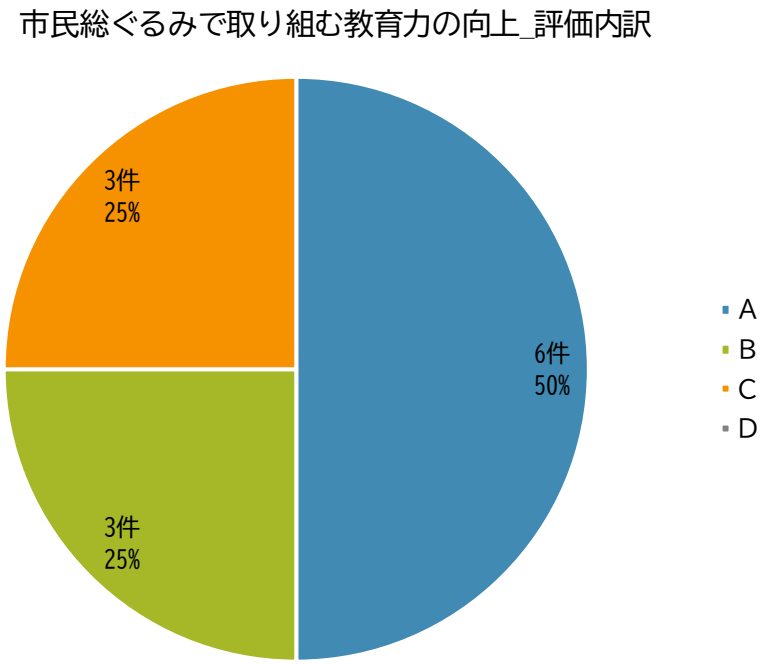


重点政策２に属する主要施策下の事務事業の評価は、評価の維持だけでなく、評価の向上と低下がより多様に混在している。評価が上がったものもあれば、下がったものも同程度存在し、一律の傾向が見られないなど、改善に向けた詳細な評価が求められる領域が存在する結果となった。

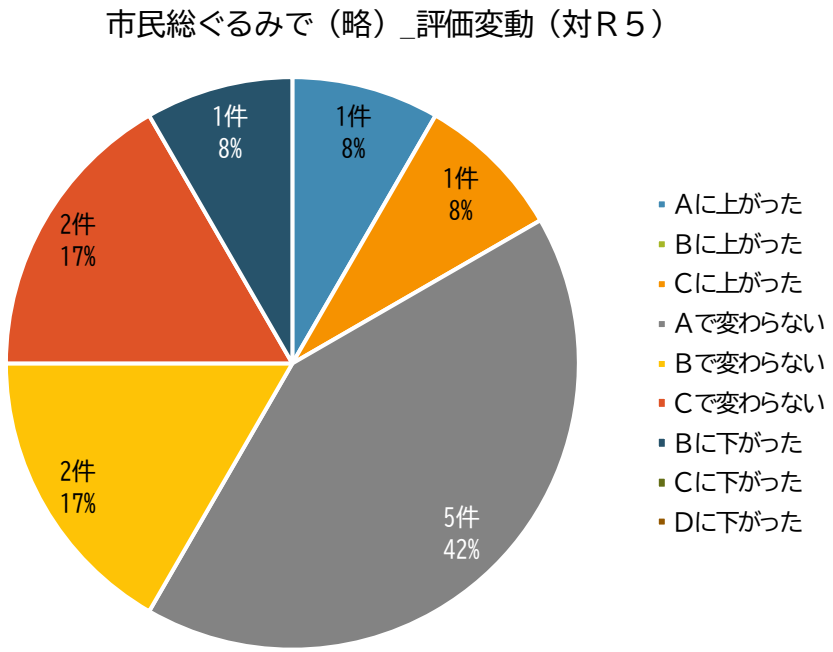
４）重点政策３「市民総ぐるみで取り組む教育力の向上」評価状況



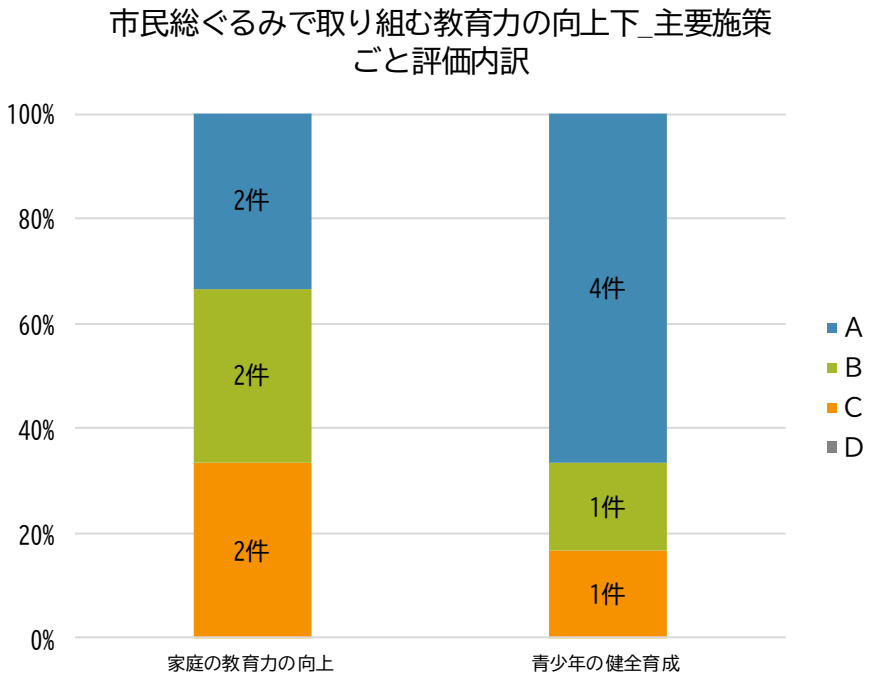
重点政策３に属する事務事業は総数12件で、内訳は上記のとおり。



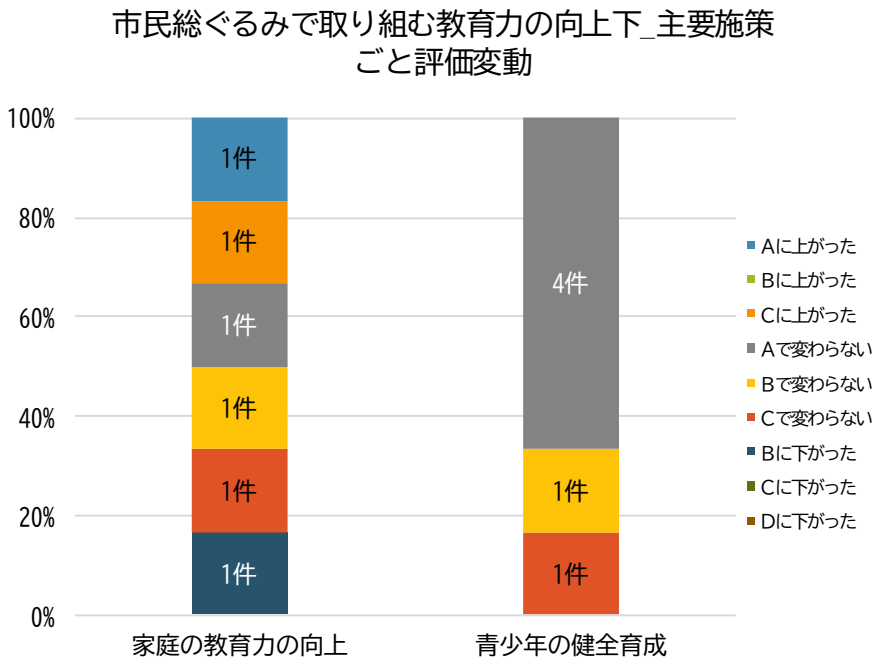
重点政策３に属する事務事業の評価内訳は、Ａ評価を維持した施策が５割と最多である一方、Ｃ評価も全体の４分の１存在する結果となった。



重点政策３に属する事務事業12件の評価は、Ａ評価を維持した施策が最も多く、Ｄ評価から改善をみた項目もある一方で、昨年のＡからＢ評価に下落したものも存在している。また、Ｃ評価にとどまる施策も２割弱あり、ＡまたはＢ評価の維持を除き施策全体の成果が停滞傾向にある結果となった。

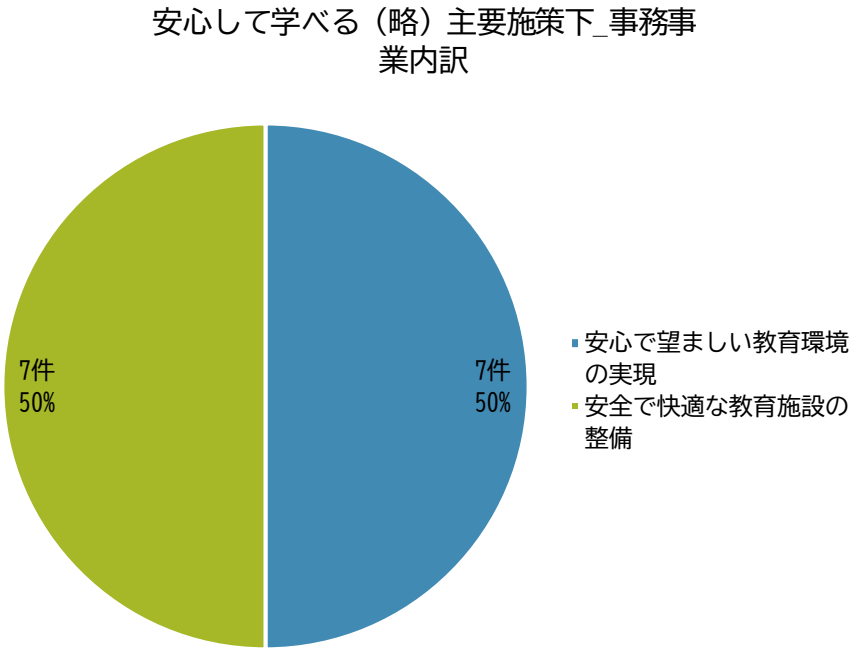


主要施策ごとの評価では、Ａ評価又はＢ評価が大半であり比較的良好な状況にある一方、改善の余地があるＣ評価の項目も一定数存在する結果となった。

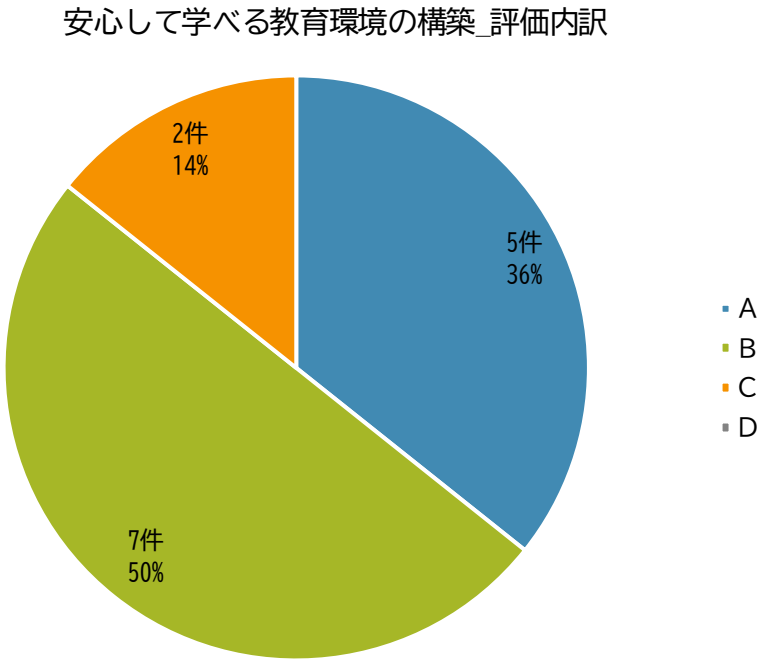


重点政策３に属する事務事業の評価は、施策によって明確な傾向の違いが見られ、評価の向上、維持、低下が多様に混在してするものと、大部分の施策がＡ評価を維持し安定しているものに傾向が二分しており、一部に評価が低下した施策も存在する結果となった。

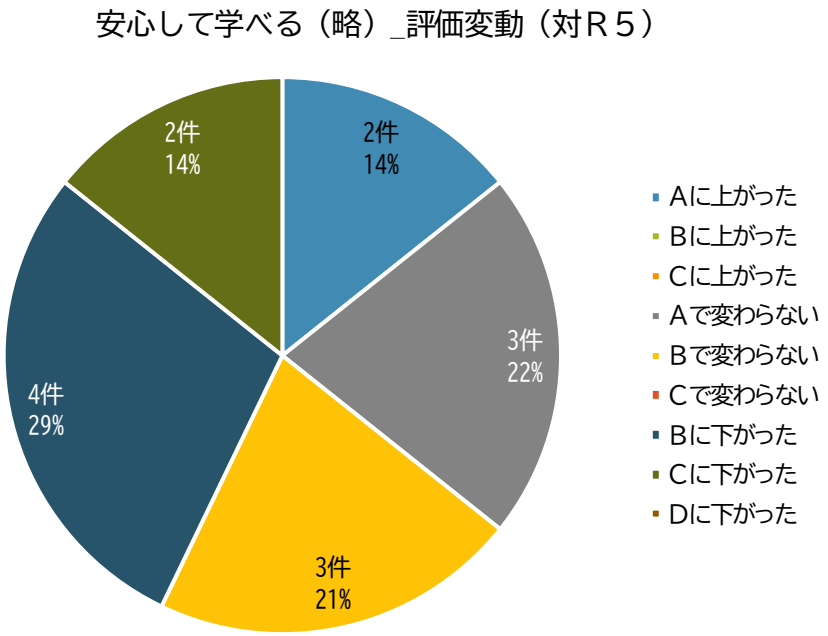
５）重点政策４「安心して学べる教育環境の構築」評価状況



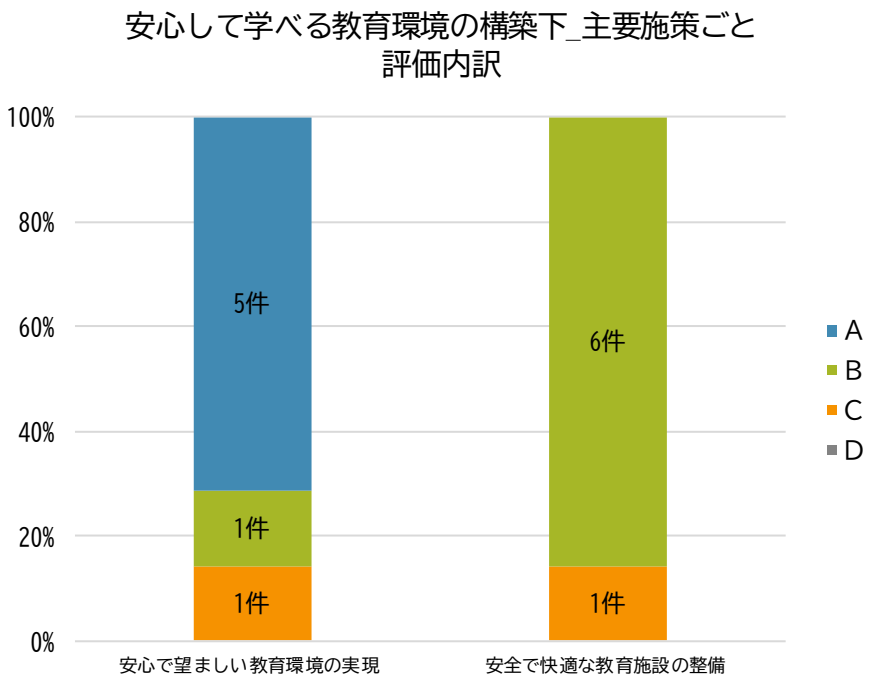
重点政策４に属する事務事業は総数 14 件で、内訳は上記のとおり。



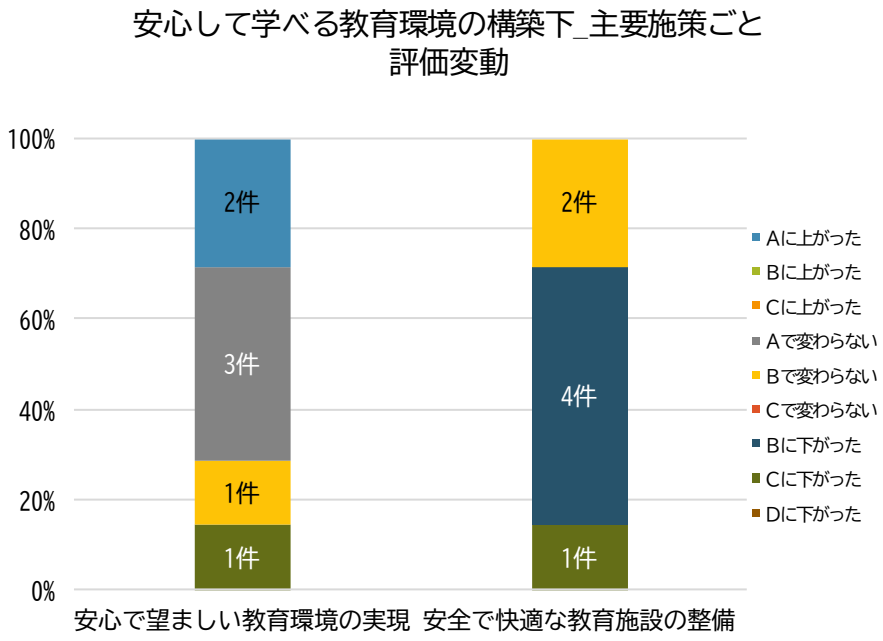
重点政策４に属する事務事業の評価内訳は、改善が必要なＣ評価も一部に存在するものの他の重点政策よりも割合は低く、Ａ又はＢ評価で９割弱を占めており、全体的に良好な成果を維持しているという特徴が見られる。



重点政策４に属する事務事業14件の評価に関し、Ａ又はＢ評価を維持した施策４割強と最も多い一方で、ＡからＢに評価を落とした施策も約３割を占めた。Ｃに評価を落とした項目もあり、Ａ評価へ向上した施策も存在するが、全体的な評価変動としては、横ばいかやや低下気味の傾向を示す結果となった。



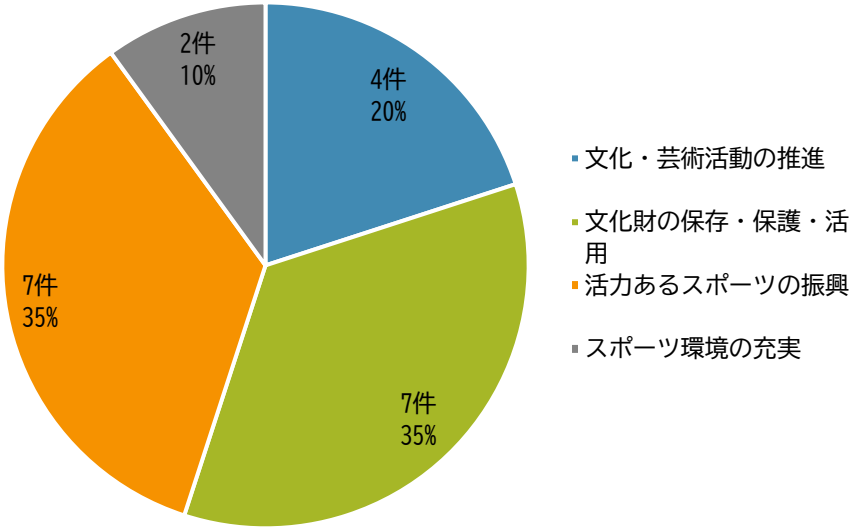
主要施策ごとの評価では、施策によって中心となる評価が異なっている。一方はＡ評価が主体であるのに対し、もう一方はＢ評価が主体となっている。どちらの施策も大部分が良好な成果と評価できているものの、一部に改善のよりがあるＣ評価も存在する結果となった。



重点政策４に属する事務事業の評価は、一方はＡ評価の維持、あるいはＡ評価への向上が主体となったのに対し、もう一方はＡ評価からＢ評価に下げた項目が多数を占める結果となった。一定程度評価の安定性がうかがえる一方で、評価を下げた項目については向上を目指した事業の再点検の余地がある結果となった。

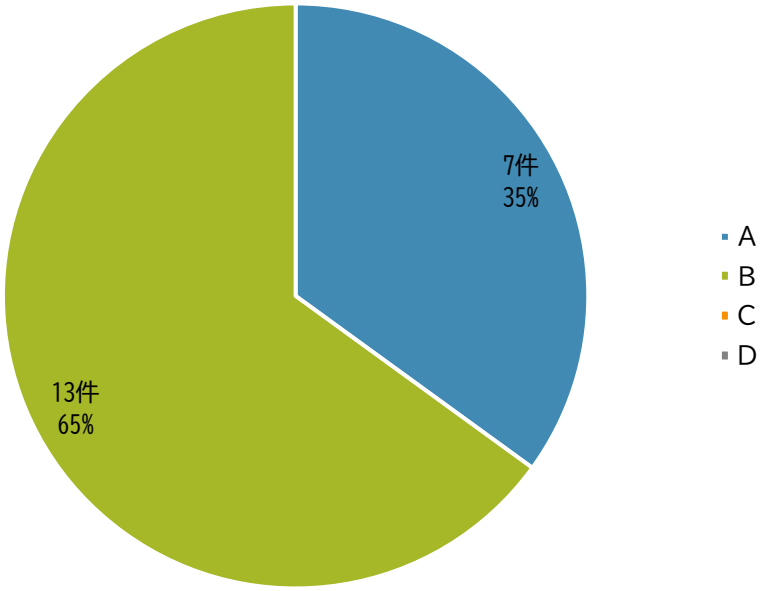
６）重点政策５「地域を支える文化・芸術、スポーツの振興」評価状況

地域を支える（略）下_主要施策の数

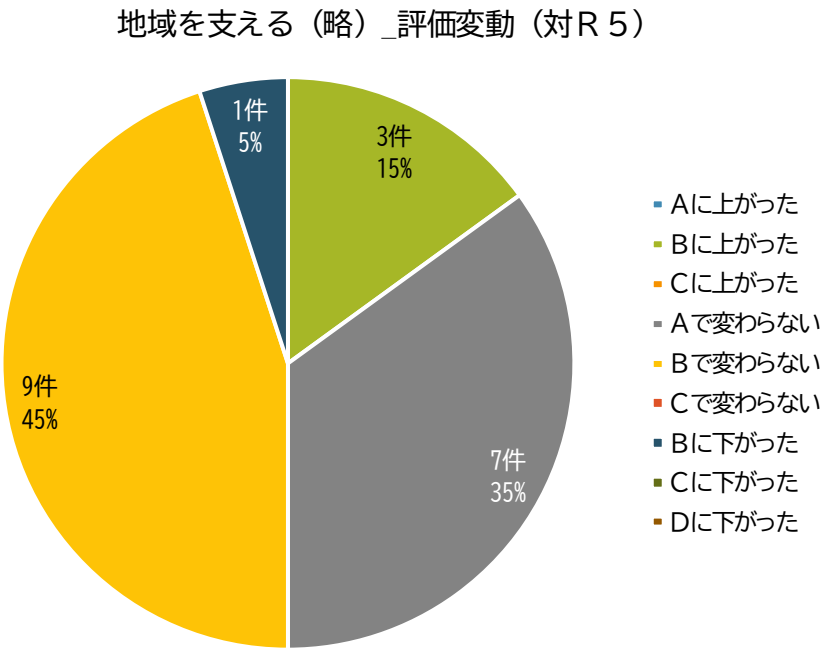


重点政策５に属する事務事業は総数20件で、内訳は上記のとおり。

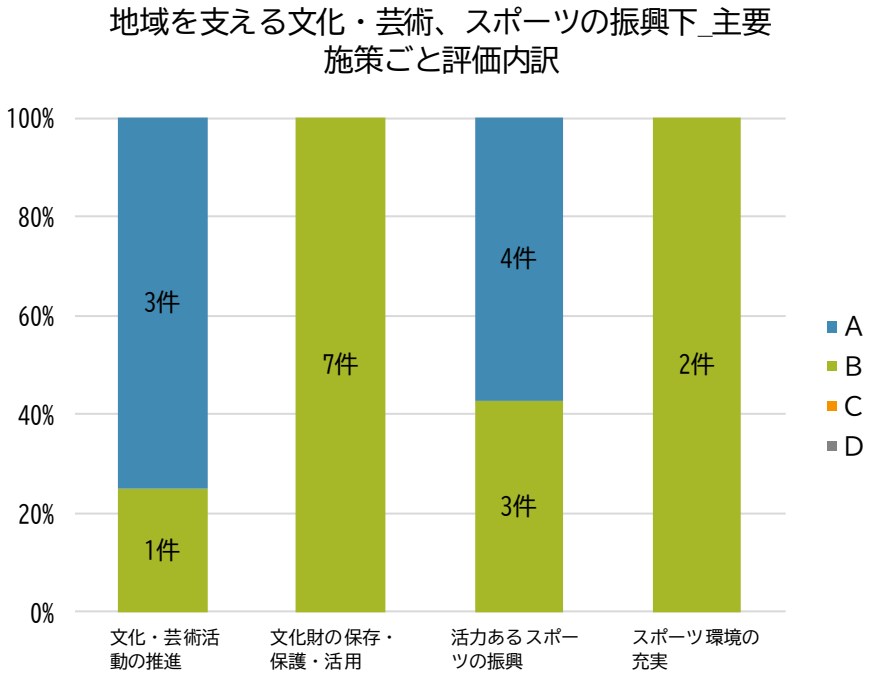
地域を支える文化・芸術、スポーツの振興_評価内訳



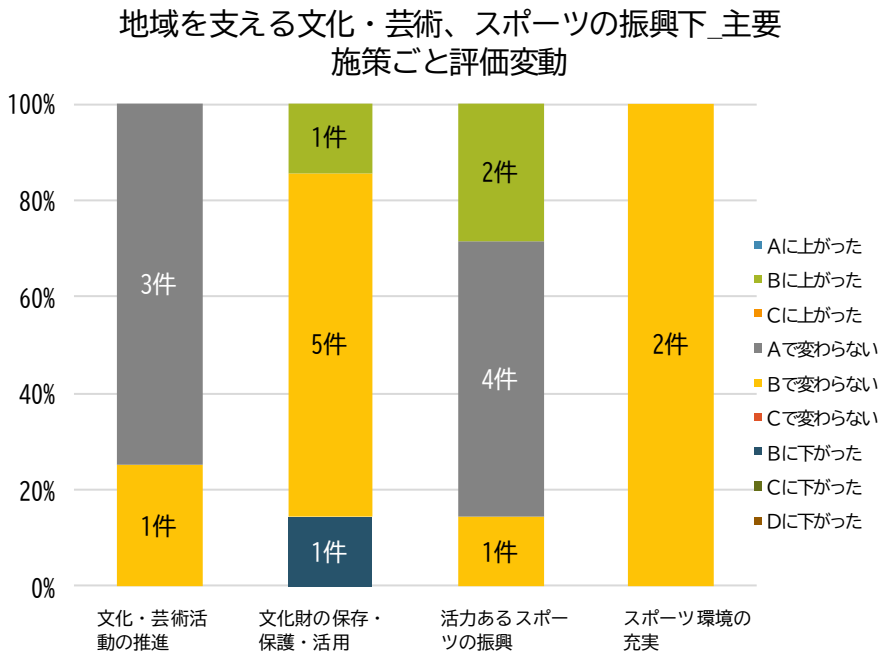
重点政策４に属する事務事業の評価内訳は、Ｂ評価が大部分を占めつつも、Ａ評価も約３分の１を占めており、良好な成果を残している状況にある。改善が必要なＣ又はＤ評価が存在しないことから、全体的に高い水準で施策が遂行されている結果となった。



重点政策４に属する事務事業20件の評価に関し、Ａ又はＢ評価を維持したものが８割を占め、Ａ評価へ向上したものの割合は、全重点政策中最も高くなった。一方で、ＡからＢに評価を落としたものもあった。全体的に高い評価状況であるため次年度以降の維持・向上が期待される結果となった。



主要施策ごとの評価では全体として、すべての施策でＡまたはＢ評価のみが得られ、非常に良好な状況にあり、全体的に高水準で実施されていることが示される結果となった。



重点政策４に属する事務事業の評価は、主要施策ごとに傾向が分かれ、前年度から評価傾向が変わらないもの、評価の維持または変動の結果、全項目Ｂ評価となったものなどがあり、全体的に大きく低下する傾向は見られなかった。

７）重点政策を通した考察

ア．全体的な評価の肯定性

重点施策全体ではＡ評価が半数以上を占め高い自己評価となった。特に重点政策１「生きる力をはぐくむ学校教育の実現」では、Ａ評価が73%と突出しており、この分野の取り組みにおいて、政策目標の達成度合いが高いことがわかる。

イ．評価の安定性

評価変動を見ると、Ａで変わらない又はＢで変わらないという項目が、重点政策ごとに割合は違うが全重点政策において多数を占めており、政策目標達成を維持・継続していることがうかがえる。このことは、施策の安定した実施と効果の発現を示しているとも考えられる。

ウ．改善の余地がある施策

重点政策２「いつでもどこでも学べる生涯学習の推進」は、Ｃ評価の割合が他の施策より高く、かつ他の重点政策に比して評価の分散が見られ、Ｄ評価も一部で確認できる。また、「安心して学べる教育環境の構築」とともに、「Ｂ又はＣに下がった」ケースが複数見られることから、これらの施策については今後の改善策を検討する余地があると考えられる。

エ．評価が向上した施策

全体として評価が「上がった」ケースも見られ、「地域を支える文化・芸術、スポーツの振興」を除いては、評価が「Ａに上がった」項目が確認され、このことに関しては、他の項目の評価向上に向けた参考になる可能性もあるため、事例の共有を含めた横展開が望まれる。

オ．評価の低下兆候

「いつでもどこでも学べる生涯学習の推進」では、Ｃ評価にとどまった項目、または評価が下がった項目で全体の５割近くを占める結果となっており、全事務事業中唯一Ｄ評価をつけるに至ったものもあったことから、評価の低迷、または評価の低下傾向に注意が必要な領域であると考えられる。

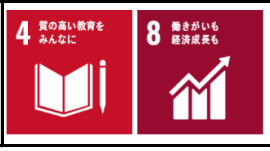
８）結論と総括

本考察から、令和６年度の重点施策は全体的に良好な成果を収めており、多くの施策で前年度の評価が維持されていることが明らかになった。

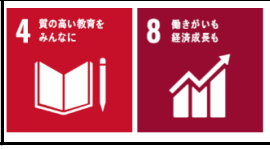
一方で、「地域を支える文化・芸術、スポーツの振興」を除いては、一部で評価の分散や低下が見られることから、評価が低迷している又は低下した施策については、課題を深掘りしてその要因を分析し、改善策を検討することが、令和７年度の評価向上につながるものと考える。また、施策の見直しや新たな取り組みの導入を検討することも有効と考えられる。

４．教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の評価一覧

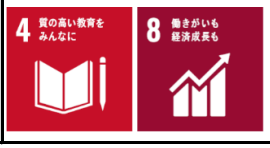
No. 1

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				SDGs	
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善					
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	教師の授業力の向上を目指し、すべての教職員が研究授業を実施した。授業後は、校長、教頭をはじめ、学力向上スーパーバイザーによる指導の場を設定することで、授業者が「授業実践の視点ver.2」を基にした振り返りを行い、日々の授業改善に努めることができた。				評価	A
課題・方向性	今後は、令和７年度４月から立ち上げた「西海市学力向上５アッププロジェクト」を学校と教育委員会が一体となって取り組む。その取組の1つとして、指導主事の学校担当校制を設定し、各学校の学力調査結果分析をもとにした校内研究の充実を図っていくことで、学習指導要領に沿った授業改善を推進していくことができるようにする。					

No. 2

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				SDGs	
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	キャリア教育の推進					
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	－	
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった児童生徒を育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリアパスポートの活用により、キャリア教育の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる児童生徒を育成するため、計画的にキャリア教育に取り組む。					

No. 3

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進	SDGs	
主要事業	学力の向上		
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実		

成果指標：塾等を含む平日の家庭学習時間達成率（小低30分、小中45分、小高60分、中120分）

実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）
小低：－ 小高：－ 中学：－	小低：　－ 小中：41% 小高：43% 中学：27%	小低：65% 小中：72% 小高：40% 中学：30%	小低：100% 小中：100% 小高：100% 中学：100%	－

事業内容・成果	学力向上の重点課題として「家庭学習の質的・量的な充実」を掲げ、各地区・各学校で「家庭学習の手引き」等を作成して取り組むことにより、改善傾向にある。	評価	B
課題・方向性	市内児童生徒の目標値である発達段階に応じた家庭学習時間については、校長会をはじめ各研修会で改めて周知する。また、家庭学習の充実には家庭の意識を高めることが必要不可欠であるため、各学校において様々な機会を捉えて保護者への啓発に努めるよう指導するとともに、今年度４月から展開している「西海市学力向上５アッププロジェクト」についても、学校、保護者・地域への周知徹底も図る。市の取組として「放課後オンライン学習会」や「家庭学習における英語アプリの活用」を実施することで、家庭学習の質的・量的な充実を図る。		

No. 4

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進	SDGs	
主要事業	特別支援教育の充実		
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実		

成果指標：研修の充実度

実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）
－	100%	100%	100%	－

事業内容・成果	市が実施する特別支援教育に関する研修会では、令和６年度も鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室の特別支援教育コーディネーターによる講義や指導教諭による講義及び演習を通して研修を深めた。また、合同特別支援教育研修会を２回実施し、幼稚園から高校までの特別支援教育コーディネーターが、特別支援教育の充実に向けて必要な共通理解を図ることができた。	評価	A
課題・方向性	特別支援教育への理解は、すべての教職員に求められるものであり、学校内での特別支援教育担当者の役割は大変重要である。特別支援教育を担当する教職員の指導力向上のためにも、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、研修内容の充実に努める。また、令和７年度に開校した時和特別支援学校西彼杵分校と連携を図り、市全体の特別支援教育の更なる充実を図る。		

No. 5

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	校内支援体制の充実					
成果指標	学習支援員配置充足度					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	85%	100%	100%	100%	19,162	
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、計22名の学習支援員を、小学校９校、中学校４校及び教育支援センターに配置した。				評価	A
課題・方向性	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にある。また、特別支援学級についても、異学年の児童生徒が複数在籍していることや、障害の程度の違いから、担任一人での対応が困難な状況にあることもあり、学校からの要望数も多くなってきている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じた適切な配置に努めていく。					

No. 6

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	相談体制の充実					
成果指標	相談に基づく専門機関との連携実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	各機関との連携として、西海市就学相談会２回、就学支援委員会３回、療育機関就学ガイダンス６回、市内幼・保・認こ・小・中・高の特別支援教育コーディネーター合同研修会２回実施した。特別支援学校の教員が参加する研修会を実施したことが専門機関との連携、相談体制の充実につながり、各学校における特別支援学校への相談や地域支援事業の積極的な活用につながった。また、関係機関からの求めに応じた相談にも対応できた。				評価	A
課題・方向性	今後も県及び他市町の専門機関との連携を生かした研修会の実施や本市の専門機関との連携強化に努め、相談体制の充実を図っていく。特に、令和７年度に開校した時和特別支援学校西彼杵分校と連携を図り、地域支援事業をはじめとした相談体制の更なる充実を図っていく。					

No. 7

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			SDGs		
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60％以上理解している生徒の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	－	14%	55%	－	
事業内容・成果	英語を母国語とする５名のＡＬＴと１名の英語教育指導員が、英語科担当又は担任教諭とともに英語指導を行った。実際のコミュニケーションで生かされる英語表現に触れることで、英語学習への意欲向上と国際理解を深めることにつながった。				評価	C
課題・方向性	県学力調査の結果を踏まえると、中学校の英語科において、学んだことの定着や活用には大きな課題がある。特に、読む、書く領域における定着、向上が重要課題である。また、令和６年度は、県学力調査問題の難易度が高く（県平均41.4%）、成果指標に係る達成率の低迷にも大きく影響した。今後は、学力向上５アッププロジェクトにも英語力向上を位置づけ、英語科教員の指導力向上に向けて、指導主事による授業参観と指導助言、定期的な教科研修会、小中連携に向けた研修会等を実施し、市全体の英語力向上に努める。					

No. 8

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			SDGs		
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	エンジョイ！イングリッシュat School、エンジョイ！イングリッシュｉｎ西海の実施					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	251	
事業内容・成果	グローバル化社会を主体的に生き抜く生徒を育成することを目的に、全ての小学校で５年生または６年生を対象に「エンジョイ！イングリッシュ at School」を、そして全ての中学校で１年生または２年生を対象に「エンジョイ！イングリッシュ in 西海」を実施した。生徒が外国人指導者とコミュニケーションを図る楽しさを十分に味わうことにより、話すことへの意欲の高まりと、日々の学習への前向きな取組につながった。				評価	A
課題・方向性	学習指導要領では、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが大きな目標となっている。学力向上５アッププロジェクトにも英語力向上を位置づけ、生徒の英語力の向上、グローバル化に向けた英語教育の推進のために、引き続き実施する。					

No. 9

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			SDGs		
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	地域の産業に携わる人材の活用					
成果指標	西海市の産業に携わる人材を教育活動で活用した学校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	地域に根ざした特色ある学校づくりを一層推進するために、地域の方々や企業等と学校が連携し、総合的な学習の時間や社会科等の学習において地域人材を活用した授業や体験活動を実施した。				評価	A
課題・方向性	さらなる地域人材の活用に向けて、コミュニティ・スクールの機能を生かし、開かれた学校づくりや連携しやすい学校の環境づくりに努めるとともに、一次産業のみならず、製造業、サービス業、情報通信業等、幅広い地元産業に関する情報を学校に向けて発信していく。					

No. 10

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs		
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進					
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	1回	1回	1回以上	－	
事業内容・成果	令和６年度も、県主催の「道徳教育推進に係る指導主事派遣事業」を活用し、７月に各校の道徳教育推進教師等を対象とした市独自の研修会を実施した。研修会では、全ての小・中学校から１～２名の参加があった。参加者が自校において研修した内容を伝達することで、内容を各学校の道徳教育推進を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	引き続き、市主催研修会の実施や各学校における道徳教育の推進状況についての情報交換や協議を行い、研修の充実を図る。					

No. 11

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育の場の充実					
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させた学校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	各学校の教育方針、年間計画に基づき、道徳的価値に関する体験的な活動等を取り入れた実践を全ての学校で展開し、道徳的諸価値の理解、道徳的実践力の育成につながった。				評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、道徳的実践力を高めることができるよう、今後も、職場体験学習やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を教育課程に位置付けて積極的に取り組んでいくよう指導していく。					

No. 12

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育の場の充実					
成果指標	ハイパーＱＵテストのソーシャルスキル尺度の質問事項別回答において「いつでもしている」の回答が全国平均を超える割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	－	
事業内容・成果	「考え議論する道徳」に向けた授業改善と道徳的価値と関連させた体験的な活動の充実が、児童生徒の道徳的実践力を高めることにつながり、自己を振り返り、より良く生きようとする態度の育成につながった。				評価	A
課題・方向性	今後も、道徳教育推進教師を中心に効果的な指導について研究を続けるとともに、体験活動や情操を育む活動を積極的に取り入れ、地域の人々や保護者の授業への参加協力を得るなどして、活動の充実を図っていく。また、令和７年度はＷｅｂＱＵテストを導入し、実施回数を年２回に増やすことにより、児童生徒の実態に応じた道徳教育の充実を図る。					

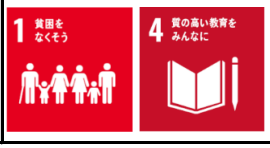
No. 13

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs		
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実					
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小学校３年生 中学校１年生 に配付	小学校３年生 中学校１年生 に配付	小学校３年生 中学校１年生 に配付	小学校３年生 中学校１年生 に配付	292	
事業内容・成果	市内小学３年生（198人）、市内中学１年生(182人)に配付し、授業で活用することで、郷土を誇りに思い、ふるさとを愛する西海市の子供の育成に努めた。また、小・中ともに「社会科副読本編集会議」を開催し、令和７年度版の作成を行った。				評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、本市の最新情報を収集し、定期的に副教材の編集を重ねながら、ふるさとをより良く理解し、愛着を持つことができる内容となるよう工夫するとともに、積極的な活用について各学校への指導を行う。					

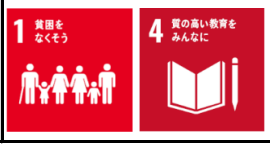
No. 14

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs		
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進					
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開					
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	60%	67%	100%	443	
事業内容・成果	各小学校の実情や地域の特色に応じて、社会科や総合的な学習の時間等において、内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開した。小学校９校中、６校が計７回実施した。				評価	B
課題・方向性	各小学校と「西海学」の目的や意義について再確認し、これまで実施してきた取組を全ての小学校に紹介することで、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深める「西海学」の実施を支援していく。令和７年度は、全小学校で実施できるよう、カリキュラムへの位置付けについて指導を続ける。					

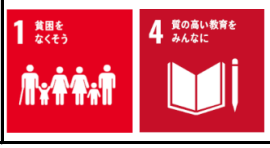
No. 15

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	平日の読書習慣の確立					
成果指標	平日の読書時間の割合（1日30分以上）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：23.3% 中3：40.9%	小6：34% 中3：24%	小6：100% 中3：100%	－	
事業内容・成果	目標値には及ばないものの小学校の数値が増加した。学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置が、日々の図書館運営の充実につながっていると考える。				評価	C
課題・方向性	平日の読書時間としては、朝の読書活動以外の個々の読書時間の確保が課題である。司書や補助員の効果的活用による魅力ある図書館づくりや取組について更なる充実を図るとともに、今後は、読み語りボランティアとの連携、親子読書の呼びかけ等の工夫にも力を入れる。特に中学校における読書時間の割合低下については、多様化する放課後の時間の過ごし方やメディアの影響も大きい。学校図書館の充実が重要であるため、学校図書館運営補助員の配置についても再検討を図る。					

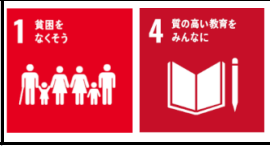
No. 16

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	蔵書率の充足					
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小：119.4% 中： 99.1%	小：113.9% 中：110.0%	小6：115.7% 中3：110.3%	100%以上	3,895	
事業内容・成果	西海市学校図書館運営マニュアルに基づき、各学校で蔵書点検を行うとともに、学校図書館図書廃棄基準を参考に、図書の廃棄作業を適切に進め、児童生徒に必要な図書を整備することができた。				評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、魅力的な本が並ぶ図書館運営を続け、読書活動の推進を図る。					

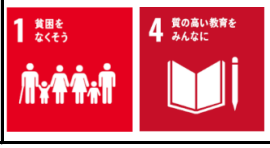
No. 17

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実					
成果指標	本土部の学校に学校図書司書等を配置する割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	100%	100%	100%	10,847	
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、学校図書館司書及び学校図書館運営補助員を本土部の各小・中学校に配置している。読書に関する指導や環境づくりの充実を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	令和７年度も、本土部の学校に学校図書館司書等を配置することができた。また、研修会を定期的に実施し、司書等の共通理解や創意工夫を凝らした環境作り、読書活動の推進に繋ぐことができた。しかしながら、司書等の兼務校数が増加し、現在の状況を維持することが難しくなってきている。今後、任用数増を視野に入れた検討を続けていく。					

No. 18

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				SDGs	
主要事業	不登校等の子どもへの支援					
施策の方向性	教育相談体制の整備					
成果指標	不登校児童生徒の改善率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	50%	24%	29%	100%	－	
事業内容・成果	心の教室相談員を本土部４中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援の充実を図った。心の教室に別室登校できることや、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談の機会を充実させることにより、不登校やその傾向にある児童生徒の登校へのきっかけとなった。				評価	B
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校だけでの対応が困難なケースが増え、長期化しやすい傾向にある。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを講師とした研修会を行い、児童生徒と直接関わる教職員の資質向上に努める。不登校やその傾向が見られる児童生徒の実態を詳細に把握し、効果的な働きかけにつながるよう、各学校の体制づくりを支援していく。					

No. 19

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	SDGs	
主要事業	不登校等の子どもへの支援		
施策の方向性	「西海市教育支援センター」の充実		

成果指標	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）
西海市教育支援センター指導員の適切な配置	1名	2名	2名	1名	3,278

事業内容・成果	不登校児童生徒に対して、状況に応じた適切な相談や指導を行うとともに、社会適応力を育てるために、西海市教育支援センターを、大島地区、西彼地区に開設し、指導員をそれぞれに１名配置した。令和６年度は、大島地区とまと教室の利用者が６名、西彼地区あおぞら教室の利用者が９名の計１５名であった。	評価	A
課題・方向性	児童生徒が安心して学校復帰に向けた支援を受けることができる体制の整備及び維持に努める。令和７年度には大島地区とまと教室にスクールカウンセラー１名（県事業）を配置し、更なる支援体制の充実を図る。		

No. 20

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	SDGs	
主要事業	いじめや差別のない学校づくり		
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり		

成果指標	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）
いじめ解決の割合	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	－

事業内容・成果	すべての小・中学校において策定している「いじめ防止基本方針」に則り、いじめが起こった場合は、適切に対応できており、100%の解決を維持している。また、児童生徒に対し、定期的にアンケートを実施することによって、児童生徒の状況把握といじめの早期発見につながった。いじめ認知件数は、令和５年度から５件増加したが、これは県の指導を受け、これまで以上に積極的に、軽微な事案からいじめの認知を行い、早期発見・早期解決に努めたことも要因の一つである。	評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりの充実と継続に努める。		

No. 21

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			SDGs		
主要事業	いじめや差別のない学校づくり					
施策の方向性	いじめ防止対策の推進					
成果指標	学校におけるいじめの問題に対する日常の取組実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小69% 中61%	小100% 中100%	小100% 中100%	小100% 中100%	－	
事業内容・成果	すべての小・中学校において策定している「いじめ防止基本方針」に則り、いじめが起こった場合は、適切に対応できている。また、児童生徒に対し、定期的にアンケートを実施することによって、児童生徒の状況把握といじめの早期発見につながった。いじめ重大事態件数は、０である。				評価	A
課題・方向性	日常的な取組が組織的に展開できているため、今後も、早期発見に向けた体制づくりと、支持的風土のある教育環境づくりへの指導、未然防止に力を入れていく。					

No. 22

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進					
施策の方向性	健康教育の推進					
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小：98.7% 中：96.8%	小：94.7% 中：92.1%	小：90.6% 中：93.7%	100%	－	
事業内容・成果	令和５年度と比較すると小学校の割合は減少しているが、朝食を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は、全国や県の実態に比較すると高い水準を保っている。				評価	B
課題・方向性	朝食を食べる児童生徒を100%にすることが健康教育の第一歩であることを市内全校に周知徹底する。また、基本的な生活習慣は学びの土台となることから、学力向上５アッププロジェクトにも位置付け、取組の推進を図っていく。 朝食の意義については、食育指導の時間等を活用して児童生徒に直接働きかけ、実践化につなげていくとともに、全ての家庭に共有するために、「は・あ・と・ふ・る運動」への意識付けを強化していく。					

No. 23

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進					
施策の方向性	健康教育の推進					
成果指標	う歯罹患者の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	小：17.2% 中：39.1%	小：5.3% 中：20.4%	小：6.3% 中：17.0%	小：15%以下 中：30%以下	－	
事業内容・成果	全小・中学校で、フッ化物洗口の取組を継続して実施しており、う歯罹患者の割合は、目標値を十分に達成しており、小学校、中学校ともに改善した。				評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。					

No. 24

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	健康教育、安全教育、防災教育の推進					
施策の方向性	安全教育の推進、防災教育の推進					
成果指標	避難訓練の実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	100%	－	
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、自然災害、火災、不審者対策等の避難訓練や引き渡し訓練等、各学校の実態に応じた訓練を実施することができた。				評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。					

No. 25

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				SDGs	
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	児童生徒の体力の向上					
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	46.7%	67.6%	55.8%	60%	－	
事業内容・成果	各学校が「体力向上アクションプラン」を作成し、体力向上に取り組んでいる。瞬発力や筋力については、多くの学校で全国平均を上回っていた。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動として行うことで改善が見られた。				評価	B
課題・方向性	上体起こしや長座体前屈の種目で全国平均を下回っているため、継続した取組が必要であり、児童生徒の体力の分析や実態に応じた「体力向上アクションプラン」の見直し及び授業での実践につながるよう指導していく。					

No. 26

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				SDGs	
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上					
成果指標	部活動指導者講習会の実施					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0回	2回	2回	2回以上	7	
事業内容・成果	部活動顧問や部活動指導員等を対象に研修会を年２回開催した。部活動の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するために、部活動指導等と環境づくりのあり方について考え、指導力及び資質の向上を図る貴重な機会となった。				評価	A
課題・方向性	年２回の研修会を継続している。これまで、講師にはメンタルトレーナーやアスレチックトレーナー、スポーツ栄養士に依頼をしてきたが、今後の研修会の充実に向け、講師選定についても工夫していく必要がある。					

No. 27

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	安全な食材の確保					
成果指標	西海市産の農産物の使用率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	59.5%	74.7%	73.8%	70%	－	
事業内容・成果	地場産物の使用について、栄養教諭や学校栄養職員、各学校給食共同調理場の職員は高い意識をもっている。地場産物の使用は、納入量の確保や価格面の課題、作業工程の煩雑さ等の課題も多い中、目標値を超える使用率を維持し、地元食材を有効活用した献立を実施できた。				評価	A
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。					

No. 28

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	食育の推進					
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	85.7%	85.7%	78.6%	100%	－	
事業内容・成果	小学校においては実施率100％を達成した。中学校においては、食育に関する指導はすべての中学校において実施できているが、行事の実施としては、一部の学校での実施にとどまった。				評価	B
課題・方向性	栄養教諭や学校栄養教員との連携、家庭や地域との連携により、食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高めたりする取組を継続する。また、中学校においても、毎年度全ての中学校で実施している食育に関する指導を生かし、行事等の取組へと活動の範囲を広げる。					

No. 29

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現			SDGs		
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	学校給食施設の適正化					
成果指標	学校給食共同調理場の適正化					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	未策定	策定済	策定済（要修正）	適正化	－	
事業内容・成果	防災機能を有した「防災食育施設」を整備するため、実施計画に基づいた事業実施を進めているが、建設地の決定に至らなかったため、計画時期に変更が生じ、当初計画より３年後の供用開始を目指し、計画を修正することとなった。 修正後：令和９年度：設計・測量・地質調査 ：令和11、12年度：建設工事（令和12年度２学期から供用開始）				評価	C
課題・方向性	引き続き、市長部局と連携して円滑に事業を実施していく。					

No. 30

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上			SDGs		
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	定期研修会の充実					
成果指標	定期研修会での充実度割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、それぞれが果たすべき役割について確認したり、今日的課題への対応についてグループ協議や情報交換等を位置付けたりして実施することにより、役割意識や学校運営への参画意識を高めることにつながった。				評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等を対象とした定期研修会の内容について、近年の教育課題から本市に必要不可欠なものを取り上げ、学校の実態や児童生徒の教育的ニーズに応じた効果的な研修を展開できるようにしていく。また、今後は、令和７年４月から展開している「西海市学力向上５アッププロジェクト」の取組として、「希望参加型」「次世代リーダー育成型」の研修会を開催し、教職員が自分の興味関心をもとに、主体的に学ぶことのできる研修の機会を確保していく。					

No. 31

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	選択制研修会の充実					
成果指標	選択制研修会の実施回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	4回	4回	6回	5回	－	
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、選択研修では「不登校等対応」「ＩＣＴ活用」の２つの研修会を実施した。また、西海市独自の研修会として、「学びの土台づくり」講演会を１回、「ＡＩドリル活用研修会」を３回実施した。				評価	A
課題・方向性	夏季休業期間は教職員にとって絶好の研修機会であると捉え、教職員個人の興味・関心・意欲に応じた研修を選択できるようにする。今後は、「西海市学力向上５アッププロジェクト」の取組として希望参加型の研修機会を設定し、参加者のニーズに応じたものとなるよう、内容をより一層充実させていく。					

No. 32

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	校内研修の充実					
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	52回	57回	62回	55回	－	
事業内容・成果	令和６年度は、各学校の研究内容に応じて指導主事を23回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ39回実施し、教職員の資質向上、指導力向上につながった。				評価	A
課題・方向性	校内研修や学校訪問等における指導主事や教科等指導員による授業参観及び指導助言により、教職員の指導力向上を図る。特に、各校の校内研修を通して、それぞれの学校の課題に応じた新しい教育情報や授業改善につながる指導法を示すことで、具体的な実践と教職員の資質向上につなげていく。今年度は「西海市学力向上５アッププロジェクト」の取組の一環として、指導主事の担当校制を設定し、各学校に年間１０回以上の訪問を目標として、校内研究への指導派遣を計画、実施している。					

No. 33

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	研究指定校の支援					
成果指標	研究指定校数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	5校	4校	5校	6校	499	
事業内容・成果	令和６年度は、西彼中「学びの土台づくり」、西海中「学力向上」、大串小「GIGAスクール」、大瀬戸小「学びに向かう力」、大瀬戸中「人権教育」を研究校に指定し、そのうち２校が研究発表会を開催し、研究の成果を西海市内の小・中学校に示すことができた。				評価	A
課題・方向性	「西海市学力向上５アッププロジェクト」の取組の１つとして、指導主事の担当校制を活かし、各学校の校内研究を指導・支援するとともに、研究成果を市内の全学校に発信し、市全体での共通実践につなげていく。また、令和７年度から、市研究指定を３年間とすることで、研究内容の深化を図り、確かな研究成果につながるよう支援していく。					

No. 34

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進				SDGs	4 質の高い教育をみんなに
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進					
成果指標	幼・保・認こ・小の教職員間の連携の実施割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や引継ぎ、行事での交流等を小学校区単位で計画し、実施できた。				評価	A
課題・方向性	令和７年度８月、西海市幼保小連携推進協議会を設置した。今後はさらに幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や交流学習等による連携を推進していく。					

No. 35

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進				SDGs	
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼・保・認こ・小・中・高の教職員の合同研修の機会の充実					
成果指標	幼・保・認こ・小・中・高の教職員合同研修の実施回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	2回	2回	2回	－	
事業内容・成果	令和６年度は、幼・保・認こ・小・中・高合同の特別支援教育研修会を８月と２月の２回実施することができた。本市の幼稚園から高校までの特別支援教育コーディネーターが一堂に会し、県立特別支援学校の先生方からの指導助言や情報共有等を行うことができる貴重な機会となった。				評価	A
課題・方向性	令和７年度の１回目の研修会は、長崎大学　准教授　前原由喜夫氏を講師として迎えて実施することができ、専門的な学びを深めることができた。幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員が参加できるような体制づくり、共有すべき内容について研究し、今後も、研修機会の確保とともに内容の充実に向けて工夫していく。					

No. 36

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現				所管課	学校教育課
主要施策	働き方改革の推進				SDGs	
主要事業	教職員の働き方改革の推進					
施策の方向性	学校の負担軽減と超過勤務時間の改善					
成果指標	超過勤務時間の把握及び業務負担軽減に取り組む学校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	学校教育課では、市内全教職員の勤務時間の把握に努め、毎月の校長会研修会や教頭会研修会において管理職員に向け、超過勤務縮減に向けた指導を継続して行った。学校においては、校務支援システムを活用した出退勤時刻の管理が定着し、職員の勤務状況の把握に有効に働いた。				評価	A
課題・方向性	県の超勤改善等対策会議における超過勤務時間の目標は、令和７年度までに「年間540時間超過勤務教職員」の割合を０％にすることである。現在、各小・中学校において進められている超過勤務時間の把握及び業務負担軽減への取組の更なる推進を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課
主要施策	働き方改革の推進	SDGs	
主要事業	教職員の働き方改革の推進		
施策の方向性	中学校部活動に対する支援		

成果指標

部活動指導員の配置（人）

実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）
－	6人	6人	8人	1,935

事業内容・成果	中学校保健体育科の教員経験がある者、教員免許取得予定がある者、部活動や地域文化・スポーツ等において将来小中学生の指導者等になることを志している大学生及び元外部指導者を、部活動指導員として市内本土部の３校に６名配置した。専門的な知識や技能を生かした指導等を行ったことで、部活動の充実と部活動顧問の負担軽減を図ることができた。	評価	B
課題・方向性	部活動指導員を配置したことにより、生徒が直接的な指導及び間接的な支援等を受けられるようになった。さらに、専門的な知識や技能を有していない教員の負担が軽減した。引き続き、必要とする学校への配置を行うとともに、令和８年度までに８名の配置を目指す。		

No. 38

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	情報機器操作やオンラインに関する研修、オンラインによる講座などの開設数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	1講座	0講座	1講座以上	－	
事業内容・成果	令和５年度は、佐世保高専によるプログラミング出前講座を実施した。令和６年度でもプログラミングを使ってからのドローン操作を講座として検討したが、高い技術が必要であったことから、令和６年度は親子でのドローン教室のみを実施した。				評価	D
課題・方向性	令和７年度は、８月に小・中学生を対象にプログラミングを使って、ロボットを組み立てる体験講座を実施することとしています。今後も時代に応じた情報機器を使用した講座などを検討していきたい考えています。					

No. 39

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	社会教育講座開設数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	15講座	29講座	33講座	20講座以上	1,493	
事業内容・成果	俳句教室、ヨガ教室、DIY講座、料理教室、囲碁チョンカ教室、タオル帽子、チャレンジ英会話社会教育課主催の各種講座を実施した。				評価	A
課題・方向性	講座数は目標を超過しているが、より幅広い世代向けの講座や時代に即した防災関連講座などを充実させ、より参加者に魅力ある取組を行う。					

No. 40

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実			SDGs		
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	1施設	2施設	年間2施設	40,188	
事業内容・成果	Ｒ５年度より設計業務を実施した多以良地区公民館の屋上防水や内装改修工事を実施した。 また、突発的な雨漏り被害が顕著な西彼教育文化センターの屋上防水改修工事と崩落が発生した雪浦地区公民館の外壁改修工事の設計業務を実施した。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館及び図書館等）については、経年劣化が著しいため、長寿命化計画及び施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

No. 41

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実			SDGs		
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	32,879人	28,909人	25,877人	34,500人	6,239	
事業内容・成果	（利用者内訳　来館者数24,975人＋電子図書館ﾛｸﾞｲﾝ数902人） 「BOOKリサイクルフェア」での図書館イベントで魅力の発信、図書館利用者カード電子申請の導入、平日のみのお昼休館の撤廃など利用者の増加への工夫を行ったが、昨年度と比べ減少する結果となった。				評価	C
課題・方向性	一度離れた利用者を増やしていくために、市内向けの図書館独自イベントの企画や図書館の広報周知の新たな手法などを検討する。					

No. 42

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実					
成果指標	貸出し資料数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	117,254冊	101,261冊	100,741冊	123,000冊	－	
事業内容・成果	（貸出資料数内訳：実図書館貸出冊数100,162冊＋電子図書館貸出冊数579冊）館内では、貸出実績に応じて遊べるイベントなど魅力向上等を行っているが、全体の貸出実績としては昨年度より減少している。電子図書館の実績についても減少している。				評価	C
課題・方向性	コロナ禍で離れた利用者実績を増やせずにいるため、市内に向けた市立図書館を身近に感じてもらうためのイベントの開催や広報周知の方法について検討する。					

No. 43

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	有資格者の配置の充実					
成果指標	有資格者の配置人数					
	現況値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	7人	6人	7人	8人	19,749	
事業内容・成果	会計年度任用職員として任用しており、昨年度より１名増やすことができた。				評価	B
課題・方向性	現在任用中の職員のうち、資格を有していいない職員への資格取得の働きかけなどを行う。					

No. 44

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実			SDGs		
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	電子図書館システムの利用促進					
成果指標	電子図書館における貸出し資料数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	~~3,256冊~~ 920冊	579冊	1,200冊	1,885	
事業内容・成果	「BOOKリサイクルフェア」において、電子図書館の体験コーナーの設置や市広報誌にQRコードの記載などを行っているが、前年度と比較しての利用者の増加にはつながっていない。なお、令和５年度の成果指標にあっては、電子図書館開設からの累計冊数を掲載していたため、これを見え消しで修正している。				評価	C
課題・方向性	今後も、蔵書数を増やすための財源確保やパッケージ内の無料書籍を追加したり、サイト内の特集の企画など工夫しながら電子図書館の魅力向上に努める。					

No. 45

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実			SDGs		
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	100%	100%	100%	253	
事業内容・成果	文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせるため、絵本を通したコミュニケーションの機会の提供など読書習慣の醸成を図った。				評価	A
課題・方向性	「第４次西海市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。今後は、コロナ禍も明けたため、絵本の受け渡しだけでなく読み語りや保護者への説明も行いたい。					

No. 46

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	図書館まつりの開催					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	1回	1 回	1回以上	－	
事業内容・成果	「図書館まつり」としての開催ではなく、「BOOKリサイクルフェア」を西海公民館で開催した。廃棄予定の図書を市民の方へ持ち帰ってもらうブックリサイクルやしおり作り体験、おはなし会、電子図書館体験コーナーを設置し、来場者は228名となった。				評価	A
課題・方向性	「BOOKリサイクルフェア」を今年度から単独開催とした。アンケートから、初参加の割合が多く、図書館の活動の発信につながった。今後も継続して「BOOKリサイクルフェア」開催し、体験型のイベントや図書館に興味を持ってもらう企画を取り入れていきたい。					

No. 47

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				SDGs	
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	団体貸出し、移動図書館の充実					
成果指標	団体貸出し、移動図書館の実施箇所数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	団体22/33カ所 移動8/13カ所	団体22/33カ所 移動8/13カ所	団体30/33カ所 移動10/13カ所	－	
事業内容・成果	概ね以前から利用している組織は変わっていない。				評価	C
課題・方向性	地域によっては小中学校や幼稚園保育園の統廃合、休園がある中で、遠隔地への団体貸出や移動図書館の充実を図るために現状の職員体制で対応可能か、業務負担が軽減できる機器の導入などの検討を行う必要がある。					

No. 48

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化			SDGs		
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上及びネットワークの整備					
施策の方向性	公立公民館及び自治公民館への支援による地域教育力の向上					
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	5館	16館	13館	16館	1,582	
事業内容・成果	本事業は、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。 市内自治公民館71館のうち15館が本事業を申請し、年度中に悪天候により事業中止を余儀なくされた自治公民館2館もあったが、13館が事業を実施することができた。 本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。				評価	B
課題・方向性	本事業を活用した取組みについては、先進的な活動を促すとともに未活用の館にも活用事例などの情報提供を促していく。また、本事業の更なる積極的な活用するための周知方法などを検討していく必要がある。					

No. 49

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化			SDGs		
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク体制整備による公民館機能の充実					
成果指標	公民館連絡会議の開催					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	1回	1 回	1回	41	
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催した。公立公民館活動は、悪天候などにより事業活動を中止しなければならなくなり、満足な活動ができなかった。				評価	B
課題・方向性	今後は、新しい生活様式を踏まえ、市内各公民館における活性化策及び課題解消の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。					

No. 50

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化			SDGs		
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上及びネットワークの整備					
施策の方向性	継続できる公民館活動の推進					
成果指標	地域公民館活動に資する地元関係者との会合数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	1回	1 回	1回以上	－	
事業内容・成果	少子高齢化による人口減少などにより自治公民館活動の継続性が懸念されている。そこで公立公民館の整備されていない一部地域の代表者との状況確認を含めた意見交換を実施している。今年度も１回実施し、支援の必要性の確認を行った。				評価	A
課題・方向性	今後も継続して地域の声を把握しながら公民館活動を継続していくための支援をして行く。					

No. 51

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	社会教育課
主要施策	人権教育の推進			SDGs		
主要事業	人権教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	社会における人権教育の推進					
成果指標	人権教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	531人	260人	234人	550人	-	
事業内容・成果	「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会を開催し、基調講演で「やさしさあふれる地域づくりと公民館活動」と題して佐賀県地域づくりネットワーク協議会の多良氏から講演いただいた。人権教育も含む講演をしていただき、啓発を図ることができた。また、人権啓発の趣旨を含んだ「は・あ・と・ふ・る運動」啓発作品コンクールにて、1,767点の応募があり人権啓発への意識醸成を図ることができた。				評価	C
課題・方向性	「は・あ・と・ふ・る運動」推進大会では、人権教育を含んだ内容としているが、人権教育について大きなテーマとして取り扱っていないので、今後は人権教育についてのテーマを設定していく必要がある。 今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図るため事業を工夫して行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進				所管課	学校教育課
主要施策	人権教育の推進			SDGs		
主要事業	人権教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	学校における人権教育、平和学習の推進					
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	全小・中学校で、人権集会、平和集会を年間計画に位置付け実施した。平和学習においては、県事業の「被爆体験講話者派遣事業」を活用し、被爆者等の講演を開催する等、工夫した取組ができている。				評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。					

No. 53

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	13学級	－	5学級	20学級	67	
事業内容・成果	県の実施するファシリテーター派遣事業を周知など家庭の教育力向上に向けた間接的な支援をＰＴＡや保護者会対象に5回実施した。				評価	C
課題・方向性	講師謝金の助成や講師の紹介など県の実施する事業を活用した間接的な支援に留まっているため、今後は新たな補助制度や職員の資質向上に努め直接的な支援へ繋げる手法を検討して行く。					

No. 54

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	1講座	1講座講座	5講座	－	
事業内容・成果	地区社会教育講座において、親子でドローン操縦を学ぶ作教室を企画し、親子を対象に家庭教育につながる学びの機会を提供した。				評価	C
課題・方向性	普段、家庭で体験することが少ない事を家庭教育講座を企画し、親子でコミュニケーションを取れるような取り組みを検討して行く。					

No. 55

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	ＰＴＡ連合会への支援					
施策の方向性	ＰＴＡ組織の支援					
成果指標	ＰＴＡ研究大会及び研修会等の開催					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	3回	4回	3回	3回	1,231	
事業内容・成果	西海市ＰＴＡ連合会主催による、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修会が開催され、会員相互の情報共有が図られた。				評価	B
課題・方向性	今後も、西海市ＰＴＡ連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、ＰＴＡの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。					

No. 56

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	学校運営協議会の活性化による連携強化					
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0校	8校	8校	10校	－	
事業内容・成果	令和６年度は、ときわ台小学校、西海東小学校の準備期間であり、７年度当初において２校とも導入でき、導入校は10校となった。				評価	A
課題・方向性	概ね目標達成となるよう年次計画で進めており、令和８年度には市内全小学校導入完了見込みとなる。					

No. 57

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	学校支援地域本部等への支援による地域教育の推進					
成果指標	学校支援地域本部等の会合実施数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	3回	２回	2回以上	－	
事業内容・成果	今年度より教育委員会と学校支援地域本部等との連携を深めるための会合を実施することができた。コミュニティ・スクールの地域コーディネータなどとの会合の参加を行い情報共有を図った。				評価	A
課題・方向性	今後もコミュニティ・スクールの会合なども含め連携を深めるため情報共有を継続して行く。					

No. 58

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	家庭の教育力の向上			SDGs		
主要事業	学校・家庭・地域の連携推進					
施策の方向性	市民すべてに向けた心の教育の啓発による土台作り					
成果指標	心の教育に関する啓発活動の取組数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	3回	3回	5回以上	133	
事業内容・成果	令和６年度は、前年度に引き続き、『はあとふる運動』推進大会として開催し、「は・あ・と・ふ・る運動」の実践発表を行ったことで、更なる運動の趣旨の周知が図られた。 「少年の主張大会」と「ぎゅぎゅっと！西海フェス」においても啓発活動に取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	これまで以上に、あらゆるイベントや場面で「は・あ・と・ふ・る運動」の周知や事業間の連携等に努めて行く。					

No. 59

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援による青少年の健全育成推進					
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	3回	4回	5回	3回以上	700	
事業内容・成果	西海市少年の主張大会を令和７年１月に開催した。 また、「ぎゅぎゅっと！西海フェス2024」に参加し、西海市青少年育成協議会の活動についての周知・ＰＲ、並びに青少年健全育成活動の推進と市民の意識高揚を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	支部活動の活性化を図りつつ、今後も青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。役員の高齢化により、今後、後継者問題が懸念される。					

No. 60

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	指導者育成の支援による地域教育力の充実					
成果指標	指導者研修会の開催					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	1回	1回	1回以上	－	
事業内容・成果	市内でココロねっこ指導員等講習会を開催し、西海市ココロねっこ指導員７名の参加があった。				評価	A
課題・方向性	ココロねっこ指導員の高齢化が否めない状況下にあるため、指導員の新規加入に努める。					

No. 61

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年の体験活動の推進					
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）					
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	21件	21件	20件	32件	4,119	
事業内容・成果	市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、20件の助成を行った。また、「は・あ・と・ふ・る運動」啓発の努力規定について説明したところ、創意工夫ある事業実施が見られた。				評価	B
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。魅力ある事業の活用に向け本事業の趣旨について丁寧な説明を行っていきたい。					

No. 62

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1回	2回	2回	2回	－	
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣を20名（延べ数）行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行い、市内児童から32名の参加があった。				評価	A
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

No. 63

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	2回	2回	2回	2回	29	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国協調月間（７月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書類等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。また白ポストによる有害図書類等の回収を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書類等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書類等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のため有害環境の浄化に努める。					

No. 64

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上				所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成			SDGs		
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進					
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1人	3人	3人	8人	－	
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行ってきた。				評価	C
課題・方向性	生成型ＡＩなど急速に進化しているＤＸ化に対し、青少年への悪影響を防止するルール作りなどは不完全な状況である。そのため、メディア安全指導員の確保と講話機会の拡大に努める。					

No. 65

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	学校教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	地域ぐるみの学校安全体制の構築					
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策					
成果指標	関係機関やＰＴＡ等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	100%	100%	100%	－	
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	児童生徒が学校や地域で安心して生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。					

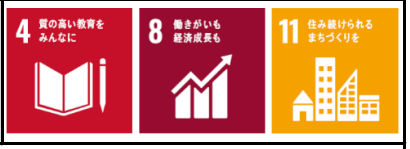
No. 66

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	学校の適正配置の推進					
成果指標	小学校数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	14校	10校	9校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	－	
事業内容・成果	令和４年度の大崎小学校開校をもって適正配置事業は一定の目途が付いた。令和６年度から、平島小中学校が休校となったため、１校減少した。				評価	A
課題・方向性	学校の適正配置の促進については、対象地区の地域住民等の意向を踏まえ、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引き続き検討していく。					

No. 67

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	学校教育課 教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	校種間の連携強化					
成果指標	小・中・高合同で行う行事等、連携して実施する活動数					
	実績値 (H27年度)	R5年度	R6年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2回	1回	2回	2回	－	
事業内容・成果	大崎中学校の合唱コンクールを大島文化ホールで開催し、大崎小学校６年生と大崎高校１・２年生が鑑賞する合同行事を開催できた。その他、中・高間での文化祭やマラソン大会、平和集会等の合同開催、生徒会行事での交流、小・中間では、中学１年生が小学６年生の平和学習のメンターになって学習を支援するなど、校種を超えて連携した取組を行うことができた。 西彼中学校と西彼農業高校でも職場体験等の交流を行うことができた。				評価	A
課題・方向性	大崎地区においては、「連携型中・高一貫教育」の取組を継続し、学校の活性化につなげていくとともに、「小・中・高一貫教育」については、各校種における教育効果を見定めて計画している。しかしながら、中高と小の地理的な要因によって、回数を増やしていくことには難しさもある。他地区においても、学校間・校種間の連携を図ることは、児童生徒が多様な教職員や児童生徒と関わる機会の充実につながるため、各校の教育目標や教育課程に照らし、大崎地区の交流を参考にしながら連携強化が図られるようにしていく必要がある。					

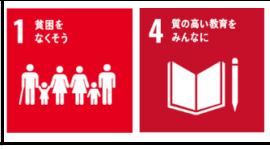
No. 68

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	社会教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	放課後の子供たちの居場所づくり					
施策の方向性	放課後子ども教室の開設、土曜学習の開催、放課後の受け入れ施設等との連携					
成果指標	事業内容に関するアンケート満足度					
	実績値 (H27年度)	R5年度	R6年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	－	98%	97%	90%以上	3,870	
事業内容・成果	放課後子ども教室を西海東小と大崎小で実施した。土曜学習は、ふるさと体験発見コース『職場体験』をテーマに「地域や産業に対する理解を深め、地元への愛着や誇りを持つ。」ことを活動目的として実施した。関係者からの説明を受けながら貴重な体験学習の提供ができ、概ね参加者からは肯定的な意見が多数を占めた。				評価	A
課題・方向性	今後も学童に通うことができない児童の一定の受け皿として放課後子ども教室を継続しつつ、ふるさとを愛する西海っ子を育むため故郷を知る体験学習を展開して行く。次年度は「西海市歴史と昔の暮らし」をテーマに事業を展開。今後も関係機関と協議しながら魅力あるテーマを設定していく。					

No. 69

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	奨学資金制度の充実					
施策の方向性	奨学資金制度の充実、市内定住促進					
成果指標	最終学校を卒業した奨学生のうち、市内に住民登録している者の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	33%	52%	59%	70%	90	
事業内容・成果	西海市内に住民登録をする者に扶養される学生が、経済的な理由により修学が困難である場合に学資の貸付けを行うことにより教育の機会均等を図り、広く人材の育成を行った。また、市内定住を条件とした返還免除を行い本市への定住の促進を行ったが、市外へ就職する者が多く、前年度と比べ市内に住民登録をしている者の割合が少なくなった。				評価	B
課題・方向性	市内定住を条件とした返還免除を行い本市への定住を促進を行うともに、返還免除の影響を考慮した基金運用を行う。また、償還については、貸与者の意識の低下による延滞金も発生していることから、債権管理の適正化を図る必要がある。					

No. 70

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	就学支援の充実					
施策の方向性	就学支援の支給、特別支援教育就学奨励費の支給、通学費補助、通学手段の整備					
成果指標	対象者に対する実施率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	100%	100%	100%	100%	57,222	
事業内容・成果	特別支援の児童生徒や経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者へ学用品費等の援助を行い、義務教育の均衡を図ることができた。また、通学費の補助を行い、保護者の負担軽減を図った。				評価	A
課題・方向性	社会経済情勢の変化や家庭環境の変化などを考慮し、支援が必要な対象者に対し支援を実施できる体制を整える。また、他市町の実施状況をもとに就学援助の認定基準の公表や申請方法の見直し（電子申請への移行）を行い、申請者及び学校事務の負担軽減を図る。					

No. 71

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現			SDGs		
主要事業	市内高等学校の活性化支援					
施策の方向性	市内高等学校の活性化支援、中学生に対する高等学校のＰＲ、市独自の高等学校支援 高等学校への通学の利便性の向上					
成果指標	入学者41名以上を達成した学校数					
	実績値 (H27年度)	R5年度	R6年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	2校	1校	1校	3校	22,152	
事業内容・成果	スポーツ専門指導員２名が西彼杵高校に関わり、バレーボールを通じた入学者の確保に貢献した。また、魅力向上支援事業補助金の交付により、各校の魅力向上に係る取組を支援した。３校合わせた入学者数は、ここ３年ほど横ばいもしくは若干の上振れを見ている。目標値の達成には至らないが、絶対的な子どもの数が減少しつつある中では、高校サイドの尽力と相まって事業実施の効果が出ているものと考える。				評価	C
課題・方向性	市内中学校から市内高等学校への進学率が35％ほどにとどまっており、この向上は課題であるが、市や高校単体の取組にも限界があるものと考える。また、県の高校再編に係る動向にも注意が必要であるが、目下の入学者の確保に向けては、本件事業の継続が必要と考える。					

No. 72

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の長寿命化					
成果指標	校舎の大規模改造					
	実績値 (H27年度)	R5年度	R6年度	最終目標値 (R8年度)	決算額 (千円)	
	9校/30校	24校/30校	24校/30校	30校/30校	53,474	
事業内容・成果	老朽化が著しい学校校舎について、内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁及び屋上防水改修並びに非構造部材の耐震化を年次計画で実施し、長寿命化に努める。 令和６年度は、大瀬戸中学校の図書室移転等の改修工事、大瀬戸小学校の改修設計を行った。				評価	B
課題・方向性	施設自体の老朽化が進んでいる学校が多く、校舎の内外壁、屋上防水、床、給排水設備等学校施設としての整備が課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

No. 73

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の長寿命化					
成果指標	屋内運動場の大規模改造					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	4校/14校	8校/14校	9校/14校	14校/14校	74,713	
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場について、内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁及び屋上防水改修並びに非構造部材の耐震化を年次計画で実施し、長寿命化に努める。 令和６年度は大瀬戸中学校屋内運動場の改修工事、西海小学校の改修設計を行った。				評価	B
課題・方向性	施設自体の老朽化が進んでいる学校が多く、屋内運動場の内外壁、屋上防水、床、給排水設備等学校施設としての整備が課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

No. 74

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	屋外運動場の改修					
成果指標	屋外運動場の改修					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	3校/4校	3校/4校	3校/4校	4校/4校	－	
事業内容・成果	児童生徒が等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修について計画的な実施に努める。				評価	C
課題・方向性	屋外運動場においては、運動の内容、利用形態等に応じた適度な弾力性を備えた良好な排水性が求められるが、排水機能が低下した屋外運動場もあり、計画的に改修することが課題であり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

No. 75

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	トイレの洋式化					
成果指標	トイレの洋式化率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	30.20%	71.14%	72.46%	80.00%	70,874	
事業内容・成果	子供たちや学校利用者が、安心感をもって小中学校を利用することができるよう、計画的にトイレの洋式化に努める。 令和６年度は大瀬戸中学校の改修工事を行った。				評価	B
課題・方向性	トイレの洋式化は学校施設としての整備はもとより、避難所としても機能するよう整備を進める必要があり、予算の平準化を図りながら実施していく必要がある。					

No. 76

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	学校教育課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	学校情報通信技術の整備					
施策の方向性	授業・学習面と校務面の両面でのＩＣＴ化の推進					
成果指標	授業中にＩＣＴを活用して指導できる教員の割合					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	－	85%	79%	100%	－	
事業内容・成果	全ての教員が授業中にＩＣＴを活用して児童生徒に指導することができる力を付けることで、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現することができるようにする。令和６年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果、79%の教員が必要なＩＣＴ活用能力を有していた。				評価	B
課題・方向性	「西海市学力向上５アッププロジェクト」の１つの柱として、「ICT活用・教育DXのレベルアップ」を設定しており、教員の指導力を高めることができるように、希望者を対象としたＩＣＴ活用研修会を開催していく。また、教員のＩＣＴ活用能力の向上とともに、児童生徒のＩＣＴ活用能力やメディアリテラシーについても高めていく。					

No. 77

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	教職員住宅の整備					
施策の方向性	教職員住宅の整備					
成果指標	教職員住宅の戸数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	90戸	92戸	90戸	93戸	97,007	
事業内容・成果	西海地区池崎アパートの改修工事を実施し、建物の長寿命化を図った。 なお、改修時に６戸から４戸へ減築したため、戸数の減あり。 また、随時入居者から相談があった不良個所の修繕対応や経年劣化した床や設備の更新を実施し、住宅の適正な管理を行った。				評価	B
課題・方向性	老朽化した住宅には、築40年以上のものもあるため、設備の更新や改修を進め、教職員のニーズに即した環境整備に努める。					

No. 78

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備			SDGs		
主要事業	教職員住宅の整備					
施策の方向性	教職員住宅の水洗化					
成果指標	教職員住宅の水洗化率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	68.90%	89.58%	89.36%	95.7%	－	
事業内容・成果	教職員住宅の水洗化を計画的に実施するため、未実施住宅の状況把握に努めた。 ※西海地区の集合住宅について、令和６年度の改修時に６戸から４戸へ減築したため、率の変動（減）あり。				評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、新築、改修の機会を捉え、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。					

No. 79

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs		
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化・芸術の拠点機能充実					
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0回	3回	2回	2回	－	
事業内容・成果	西海市文化協会の事業として、クラシック音楽観賞イベントや文化展などを開催した。				評価	A
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携し、国事業も利用しながら、上質な文化・芸術に関するイベントの機会を提供し、文化の振興に努める。					

No. 80

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs		
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	文化・芸術を通じた地域内外の交流					
成果指標	文化施設の利用者数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	11,803人	7,518人	7,926人	13,000人	7,600	
事業内容・成果	西海市文化祭、西海市文化展、西海市民音楽祭、新春踊り初めなど、西海市文化協会による文化事業を支援し、文化・芸術に接する機会の創出を図った。また、大島文化ホールで日米交流音楽祭2025を開催し、市内外からの多くの観客が集まり文化芸術の機会に触れることができた。				評価	B
課題・方向性	西海市文化協会による文化事業を支援を図り、文化・芸術の振興による地域内外の交流を促進する。					

No. 81

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs		
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の活性化支援					
成果指標	文化祭等の開催（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	3回 2,154人	4回 1,623人	4回 1,881人	4回 2,300人	7,600	
事業内容・成果	西海市文化協会による西海市文化祭、西海市文化展、西海市民音楽祭、新春踊り初めといった主要事業をはじめとした数々の事業や広報誌発行等の活動を支援し、文化活動の活性化を図った。				評価	A
課題・方向性	今後とも、文化活動活性化のため、西海市文化協会の活動を支援していく。					

No. 82

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化・芸術活動の推進			SDGs		
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の活性化を担う人材・団体の育成支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	547人	918人	960人	570人	7,600	
事業内容・成果	西海市文化協会が魅力ある文化事業推進に努めたことで、その会員数が増加した。				評価	A
課題・方向性	今後とも、文化協会を支援し、本市の文化活動を担っていく人材の育成を図っていく。					

No. 83

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	歴史･文化の拠点づくり					
成果指標	ミュージアムのテーマである「海と石（地質・鉱物）」に関する調査・研究の総数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	2件	6件	6件	7件	880	
事業内容・成果	令和５年度の国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画策定に基づき、令和６年度に計画の冊子を作製した。また、活用計画に基づき、調査・研究を行った。				評価	B
課題・方向性	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画に基づいて、適正な整備、活用を進めていく。					

No. 84

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	専門職員の配置、伝承活動の支援					
成果指標	歴史民俗資料館の入館者数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	6,182人	2,998人	2,535人	6,400人	－	
事業内容・成果	文化財の公開として、西海、崎戸、大瀬戸の３館の歴史民俗資料館の開館し、市内外からの来場者へ西海市の歴史・自然の発信に取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	以前と比べ来館者数が減少傾向となっているが、展示資料の充実、企画展等、工夫しながら、来館者数の回復を図っていく。					

No. 85

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	専門職員の配置、伝承活動の支援					
成果指標	文化財等の情報の提供回数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	16回	15回	12回	25回	－	
事業内容・成果	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画の公開や、市内にある文化財の情報を発信した。				評価	B
課題・方向性	今後も文化財等の情報提供を継続的に行い、価値の発信に努める。					

No. 86

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	市民への啓発					
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1,000冊作成	作成なし	作成なし	1,000冊	－	
事業内容・成果	『西海市の文化財』の改訂版を、必要に応じて発行するため、情報収集を継続した。				評価	B
課題・方向性	今後も情報収集を継続し、適宜、文化財についての情報を発信していく。					

No. 87

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	保護・活用方法の検討					
成果指標	国指定文化財の保存活用計画の策定					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	1件	1件	1件	3件	880	
事業内容・成果	令和６年度に国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画の冊子を作製した。				評価	B
課題・方向性	国指定史跡ホゲット石鍋製作遺跡保存活用計画に基づいて、適正な整備、活用を進めていく。					

No. 88

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	13件	13件	14件	19件	452,100	
事業内容・成果	西海市指定有形民俗文化財「上岳八朔祭」の映像記録製作を実施した。				評価	B
課題・方向性	今後とも保持団体と協議を行いながら、文化財の保存・継承のため映像記録の製作を進めていく。					

No. 89

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用			SDGs		
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	認定文化財の登録件数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0件	0件	0件	5件	－	
事業内容・成果	西海市の偉人や遺跡、市内産の黒曜石についてふるさと発見講座を開催し、市民の文化財等についての意識向上を図った。				評価	B
課題・方向性	西海市文化財保護審議会で市内文化財の活用の協議を進め、新たな認定文化財登録についても検討していく。					

No. 90

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり、ニュースポーツの普及					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	13回	2回	9回	25回	－	
事業内容・成果	誰もが楽しめるスポーツをスポーツ推進委員を介して、市内各地区で講習会、研修会を実施した。				評価	B
課題・方向性	若者からシニアまで年齢に関係なくスポーツに接することができるように、スポーツ推進委員を介して様々なスポーツの普及を目指す。					

No. 91

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり、ニュースポーツの普及					
成果指標	社会体育施設の利用者数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	225,550人	173,753人	181,607人	236,000人	－	
事業内容・成果	市民が様々なスポーツを楽しめるように、市内40個所の体育施設を提供している。また、スポーツ推進委員と協力しながら、ニュースポーツ講座を実施した。				評価	B
課題・方向性	市民が生涯スポーツを楽しめるように社会体育施設を提供して行くが老朽化等による施設管理費の増加及び施設更新のための予算確保など課題が山積している。 施設整備計画の見直しを行いながら、安心安全な施設の提供に努める。					

No. 92

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会の開催回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0回	1回	2回	4回	190	
事業内容・成果	九州地区スポーツ推進委員研究大会及び長崎県スポーツ推進委員研究大会にスポーツ推進委員の参加し、資質及び指導力の向上を図ることができた。				評価	A
課題・方向性	研究大会等に積極的な参加により、資質の向上を図り、スポーツ推進委員を中心とした生涯スポーツを推進していく。					

No. 93

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ関係者情報交換会の開催回数					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	0回/年	1回/年	2回/年	2回/年	190	
事業内容・成果	九州地区スポーツ推進委員研究大会及び長崎県スポーツ推進大会へ市スポーツ推進委員を派遣することにより、他県市町の推進委員との情報交換を行った。				評価	A
課題・方向性	スポーツ推進委員を研究大会等に積極的に派遣することにより、他県市町から様々な情報を得ることで、スポーツ推進委員を中心とした生涯スポーツを推進していく。					

No. 94

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催、地元プロスポーツの活用					
成果指標	各種講習会の開催数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	3回	1回	2回	7回	580	
事業内容・成果	大瀬戸プールに瓊浦高等学校水泳部を招聘し、市内の小学生を対象にした水泳教室を実施した。また、長崎スタジアムシティの開園イベントで大島文化ホールにて、パブリックビューイングを実施した。				評価	B
課題・方向性	県内のプロスポーツチームである「V・ファーレン長崎」、「長崎ヴェルカ」のイベント等を開催しながら、小中学生の目標となるプロスポーツの支援を行う。また、西海市スポーツ協会と協力した講習会などを実施しながら、スポーツの競技力向上及び競技スポーツの普及推進を図る。					

No. 95

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	240人	197人	176人	300人	697	
事業内容・成果	スポーツ協会を介して県民体育体育大会出場者に対して、出場経費の補助を行った。				評価	A
課題・方向性	大会出場者の出場経費について補助を行うことにより、スポーツ競技力の向上を図る。					

No. 96

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	活力あるスポーツの振興			SDGs		
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	九州大会以上の大会への出場者数（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	19件	143件	121件	30件	3,291	
事業内容・成果	市のスポーツ大会出場補助金、青少年スポーツ振興補助金、スポーツ協会の選手派遣事業により出場者の出場経費の補助を行った。				評価	A
課題・方向性	大会出場者の出場経費について補助を行うことにより、スポーツ競技力の向上を図る。					

No. 97

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	スポーツ環境の充実			SDGs		
主要事業	スポーツ施設の整備充実					
施策の方向性	スポーツ施設の整備、スポーツ施設の管理運営					
成果指標	体育施設の整備進捗率					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	22%	12.5%	12.5%	100%	11,205	
事業内容・成果	令和６年度は大瀬戸運動公園遊具の改修工事を実施した。				評価	B
課題・方向性	全体的な施設の老朽化により改修が必要である施設が多数ある。令和７年度に長寿命化計画を策定予定としており、施設の維持管理に関する検討が必要となっている。					

No. 98

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興				所管課	社会教育課
主要施策	スポーツ環境の充実			SDGs		
主要事業	スポーツの推進体制づくり					
施策の方向性	情報提供の充実、スポーツ団体の育成支援、イベントの開催支援					
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）					
	実績値（H27年度）	R5年度	R6年度	最終目標値（R8年度）	決算額（千円）	
	12回	15回	20回	40回	－	
事業内容・成果	市民へ市広報誌、ウェブサイト等の活用及び西海市スポーツ協会公式ホームページと連携しながら、情報提供を行った。				評価	B
課題・方向性	市民へ西海市スポーツ協会や各種団体と協力しながら、情報提供の充実を図る。					